

43市町村の魅力紹介

～職員採用～

目 次

建制順	団体名	郵便番号	住所
1	鹿児島市	892-8677	鹿児島市山下町11番1号
2	鹿屋市	893-8501	鹿屋市共栄町20番1号
3	枕崎市	898-8501	枕崎市千代田町27番地
4	阿久根市	899-1696	阿久根市鶴見町200番地
5	出水市	899-0292	出水市緑町1番3号
6	指宿市	891-0497	指宿市十町2424番地
7	西之表市	891-3193	西之表市西之表7612番地
8	垂水市	891-2192	垂水市上町114番地
9	薩摩川内市	895-8650	薩摩川内市神田町3番22号
10	日置市	899-2592	日置市伊集院町郡一丁目100番地
11	曾於市	899-8692	曾於市末吉町二之方1980番地
12	霧島市	899-4394	霧島市国分中央3-45-1
13	いちき串木野市	896-8601	いちき串木野市昭和通133番地1
14	南さつま市	897-8501	南さつま市加世田川畑2648番地
15	志布志市	899-7192	志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
16	奄美市	894-8555	奄美市名瀬幸町25番8号
17	南九州市	897-0392	南九州市知覧町郡6204番地
18	伊佐市	895-2511	伊佐市大口里1888番地
19	姶良市	899-5492	姶良市宮島町25番地
20	三島村	892-0821	鹿児島市名山町12番18号
21	十島村	892-0822	鹿児島市泉町14番15号
22	さつま町	895-1803	さつま町宮之城屋地1565番地2
23	長島町	899-1498	長島町鷹巣1875番地1
24	湧水町	899-6292	湧水町木場222番地
25	大崎町	899-7305	大崎町假宿1029番地
26	東串良町	893-1693	東串良町川西1543
27	錦江町	893-2392	錦江町城元963番地
28	南大隅町	893-2501	南大隅町根占川北226番地
29	肝付町	893-1207	肝付町新富98
30	中種子町	891-3692	中種子町野間5186
31	南種子町	891-3792	南種子町中之上2793-1
32	屋久島町	891-4292	屋久島町小瀬田849番地20
33	大和村	894-3192	大和村大和浜100
34	宇検村	894-3392	宇検村湯湾915
35	瀬戸内町	894-1592	瀬戸内町古仁屋船津23番地
36	龍郷町	894-0192	龍郷町浦110番地
37	喜界町	891-6292	喜界町大字湾1746番地
38	徳之島町	891-7192	徳之島町亀津7203番地
39	天城町	891-7692	天城町平土野2691-1
40	伊仙町	891-8293	伊仙町大字伊仙1842番地
41	和泊町	891-9192	和泊町和泊10
42	知名町	891-9295	知名町知名1100
43	与論町	891-9301	与論町茶花1418番地1

※ 未掲載の団体につきましては、現在準備中です。

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	547.61
人口	591,263
男	275,603
女	315,660
世帯数	305,186

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	5,865
一般行政	2,829
教育	531
消防	543
公営企業等	1,962
平均年齢	42.0

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島市は、桜島や錦江湾に代表される豊かな自然、個性あふれる歴史・文化など素晴らしい特性を有し、60万市民の生活を支え、来街者を楽しませる多様な都市機能が集積する南九州の中核都市としてこれまで着実に発展してきました。 子育てや教育環境の充実、保健衛生・防災対策など、市民の方々に身近なことから、国内外の都市との多彩な交流や歴史・自然・文化や食など、本市ならではの魅力を世界に向けて効果的に広く情報発信するなど、世界を見据えたことまで、職員一人ひとりが、行政のプロ・まちづくりの担い手であるという使命感と誇りを持ち、業務に取り組んでいます。	主なイベント (年間行事) ・ 鹿児島マラソン ・ かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ・ おはら祭
目指すまちの姿 (ビジョン)	「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」 人口減少等の環境変化に的確に対応し、将来にわたり持続可能なまちをつくり上げていくために、さまざまな交流を通じ、相互のつながりを深めることにより、新たな価値が生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市を目指していきます。	求める職員像 ①公正で誠実な職員 ②多様な主体と協働する職員 ③積極果敢にチャレンジする職員 ④経営感覚を持った職員 ⑤活力ある職場づくりに貢献する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	令和4年度／一般事務	平成27年度／獣医師
志望した理由	前職で県外に出たことで、地元である鹿児島市で働きたいという思いが強くなり、地域のため、身近な人たちのために働く市役所職員であれば、より一層やりがいを感じることができると思い、鹿児島市役所への転職を決断し、志望しました。	卒業後は「地元の鹿児島市で働きたい!」と決めていて、鹿児島市役所の獣医師職がどんな業務をしているか詳しく調べないままに受験をしたので、生活衛生関係の業務以外に、牛の繁殖にかかわる畜産の業務や食肉検査などの業務があることに驚きました。
入ってみたいこんな職場	金融機関で7年間働き、令和4年4月に社会人経験者枠で採用されました。 認知症支援室に配属となり、認知症の普及・啓発に向けた取り組み、高齢者虐待の対応、成年後見制度に関する業務を担当しています。 前職と異なる分野ですが、関連団体や民間企業等と連携した取り組みを展開する業務も担当しているため、前職での経験と共通している点もあります。	現在配属されている生産流通課では、受精卵移植事業 (肉質が良いと血統の優れた牛から受精卵を採取し、市内の農家さんが飼っている牛に移植して、改良をすすめる事業) や家畜防疫対策事業 (家畜の伝染病等の発生・まん延を未然に防ぐために、農家を巡回し、予防注射等に対する補助を行う事業) 等を担当しています。 生産流通課は獣医師職だけでなく、いろいろな職種の方と関わりがあります。職種の違いで壁はなく、幅広く情報共有ができ、楽しい職場です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	市役所には数多くの部署があるため、業務を通じて、市民 (家族やお世話になった人も含めた) との繋がりを実感できる魅力があります。 私には認知症の祖母がおり、実際に症状が進行していく姿を見ってきました。その経験があったことから、自分の立場で何かできることはないかと考えながら、業務に専念しています。 自分が担当している業務が、どこかしらで身近な人に関係していると実感することができるため、責任感を持って仕事に励めます。	畜産農家を巡回するなど現場での仕事も多く、直接農家さんからお話をうかがうことができます。自分が移植した受精卵の子牛が生まれた時など、携わった仕事で感謝された時は特にやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	鹿児島市の変わらない良さを活かしながら、時代と共に変わり続ける課題に対して、働きかけることのできるやりがいのある仕事です。ぜひ、鹿児島市役所職員として、一緒に働きましょう。	鹿児島市役所では、他の公務員獣医師では経験できない幅広い業務があり、さまざまな経験ができるので、とても楽しいですよ。さらに、獣医師としてのやりがいを感じながら、自分の時間をもつことができるので、趣味や家族との時間も大切にできる点も魅力のひとつです。 ぜひ一緒に鹿児島市で働きましょう!!!

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 採用されてから1年間は職場の先輩職員1人が身近な相談役としてサポートします。また、所属係長や保健師との定期面談もあります。 ○充実した研修制度 新規採用研修、採用年数に応じた研修、職位 (主査、係長、課長等) に応じた研修のほか、海外派遣研修も行っています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏期休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。なお、令和6年度の男性の育児休業取得率は85.2%です! (女性100%です。) ○各種手当 住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当及び勤勉手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。また、獣医師は、支給要件に応じて初任給調整手当が支給されます。
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	448.15
人口	99,654
男	47,748
女	51,906
世帯数	51,145

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	766
一般行政	571
教育	123
消防	0
公営企業等	72
平均年齢	44.0

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿屋市は本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、人口は約10万人で古くから大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点として役割を担っています。 市の北部には壮大な高隈山系が連なり、西部は、鹿児島湾に面して美しい海岸線が見られ、南部は、吾平山上陵を有する山林地帯となっております。 1年を通じて温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、第1次産業を基幹産業として全国でも有数の食料供給基地を形成するとともに、日本最大級の『かのやばら園』や国立大学法人鹿屋体育大学などの施設も集積しています。	主なイベント (年間行事) 4～5月・10～11月…かのやばら祭り (日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」で、春と秋の開花シーズンに合わせて開催されます。) 4月…エアーメモリアルinかのや (海上自衛隊鹿屋航空基地の開隊記念日に合わせて、航空ショーをメインに開催されるイベントです。) 8月…かのや夏祭り (南国情緒豊かで陽気なハニヤ節に合わせて市街地を踊り練り歩く「総踊り」など、夏の風物詩として多くの人々ににぎわいます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市かのや」 基本目標① やってみたい仕事ができるまち 基本目標② いつでも訪れやすいまち 基本目標③ 子育てしやすいまち 基本目標④ 未来につながる住みよいまち 基本目標⑤ ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち	求める職員像 ①新たな時代の変化を的確に捉え、積極果敢に挑戦する職員 ②経営型行政の実現を目指し、自己変革に努める職員 ③市民と協働で活力に満ちた魅力ある地域を創造する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種		
志望した理由	鹿屋市ホームページに「先輩職員の声」を動画で掲載しています。ぜひ御覧ください。 【掲載ページ】 鹿屋市ホームページ(https://www.city.kanoya.lg.jp/) ホーム > 市政情報 > 職員・給与 > 職員採用 > 鹿屋市職員募集 > 先輩職員の声	
入って見たらこんな職場		
仕事のやりがい (印象に残っていること)		
先輩職員からメッセージ		

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○ジョブトレーナー制度 入庁後1年間、同じ部署に所属する比較的年齢に近い職員が「ジョブトレーナー」として、新規採用職員をしっかりとサポートします。業務以外も含めて、何か分からないことがあればすぐに相談できる体制を整えています。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワークや時差出勤が可能です。 ○資格取得の促進 対象資格を取得した場合、受験料や資格取得のための学費などの一部を助成し、職員の専門性の向上や自己啓発の取組を支援しています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	74.78
人口	18,898
男	8,707
女	10,191
世帯数	10,355

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	321
一般行政	180
教育	25
消防	42
公営企業等	74
平均年齢	40.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県薩摩半島の南端に位置する当市は、東は南九州市知覧町、北は南九州市川辺町および南さつま市加世田、西は南さつま市坊津町に接し、南は広大な東シナ海に臨む景勝の地にあり、その形状はほぼ五角形です。 市域は、東西12km、南北10kmで、面積74.78平方キロメートルとなっています。 当市の地勢は、市の北部にある主峰蔵多山から東西に延びる周辺の山地と、花渡川流域の中央平地や国見岳の南麓に広がる東西の両台地、それに枕崎港を中心とする海岸線に区分されます。	主なイベント (年間行事)	5月…こどもの日かつおまつり こどもの日と初鯉の時期が重なることから、子どもの健やかな成長を枕崎特産の縁起魚「かつお」にあやからうと始められた祭りです。かつお一本釣り大会や鯉節削り大会など、枕崎ならではの催し物が開催されます。 8月…さつま黒潮「さばらん海」枕崎港まつり 「さばらん海」は昭和26年8月から航海の安全と大漁、五穀豊穡、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた南薩摩最大の夏祭りです。 まつりのフィナーレを飾る三尺玉花火の打ち上げは九州で最大級。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「活力ある地場産業に支えられ 人情味あふれる 安らぎと潤いのある枕崎市」 「すべての人々が健康で幸せに育ち・住まい・活動し・集い・憩い・交流する環境が整ったまち」をつくるため、それぞれの場面に必要な施策を切れ目なく繋げながら「豊かな自然環境の中で過ごすことで心身の安寧を保ち、活力のある地場産業に支えられ着実に進歩することで、安定した潤いのある未来を見通せる暮らしを築いていける枕崎市」を追求していくことを基本理念としています。	求める職員像	①市民志向：市民の満足を最優先に考える職員 ②創造・挑戦：創造と改革に挑戦する職員 ③自立：プロ意識を持ち、自ら考え、主体的に行動する職員 ④優れた経営感覚：効率的な仕事をする職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和2年度／一般事務職	平成29年度／土木技師
志望した理由	枕崎市に生まれ育ち、県外に進学・就職していました。しかし、一度地元を離れたことで、改めて枕崎の魅力を再認識しました。そこで、自分が県外で学んだ知識や経験を故郷である枕崎市の為に活かしたいと考え、枕崎市役所職員として働くことを志望しました。	きっかけは、道路の脇で三脚に大きな機械を乗せて何かをのぞいている作業風景を見かけたことです。初めて目にするその作業風景が不思議で興味をもちました。 それから土木を学べる高校へ進学し、市役所にも土木技師という職業があることを知り志望しました。
入ってみたら こんな職場	市役所に入庁する前は「公務員＝堅苦しい」という先入観をもっていました。事実として、業務の中には堅苦しい部分もあります。しかし、職員一人一人や職場の雰囲気も堅苦しいかというところではありません。 職場には、肩書や年齢差に関係なく、互いに助け合う文化が根付いています。枕崎市民のために職員全員が連携し、それぞれの個性や適性を活かしながら、ひとつのチームとして業務に当たっている印象です。	設計書や図面の作成だけでなく、工事の発注、契約業務や補助金事業、施設の管理など、幅広い業務に携わります。業務を進める上で、民間企業や工事対象エリアの住民などさまざまな立場の人の間に立って調整する必要があるため、円滑なコミュニケーションが求められる職場だと思いました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	業務を行う中で、市民の方から「ご苦勞様」「ありがとう」など声を掛けていただく機会が多くあります。このようなときに自分と地域とのつながりや、自分の仕事が市民の役に立っているという実感を得ることができ、日々の業務のモチベーションにつながっています。	業者の方々と一緒に悩みながら試行錯誤して完成した現場で、「便利になった」、「きれいになった」など感謝の言葉をいただくことがあります。仕事の成果が目に見えることがやりがいであり魅力だと感じています。
先輩職員から メッセージ	枕崎市役所には頼りになる先輩や上司がたくさんいます。新規採用職員を含めた若手職員に対するサポートは特に手厚く感じます。行政職に不安を抱えている方も、「枕崎の為に何かをしたい」という気持ちだけをもって枕崎市役所に来ていただければと思います。私を含めた職員が全力でサポートします。	市役所の仕事は驚くほど多種多様です。その中でも、土木職は道路や構造物をつくっていく過程や完成した達成感など、土木職ならではのやりがいのある仕事なので、ぜひ挑戦してみてください。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 採用直後に行われる「新規採用職員等実務研修」や各種サポート研修のほか、同じ部署に所属する先輩職員が入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	329.98
人口	51,405
男	24,338
女	27,067
世帯数	25,953

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	935
一般行政	381
教育	103
消防	72
公営企業等	379
平均年齢	42.2

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	本市は、鹿児島県の北西部に位置し、陸の三方は阿久根市、薩摩川内市、さつま町、伊佐市及び熊本県水俣市に接しています。 紫尾や矢筈の山々を背にし、八代海（不知火海）に面した広大な平野に多くのツルが越冬する豊かな自然と武家屋敷群をはじめとする由緒ある歴史を有するまちです。	主なイベント (年間行事)	7月…夏祭りいずみ鶴翔祭 10月…いずみマチ・テラス (出水市の人口と同規模の数である5万本以上の竹灯籠でまちを照らす竹灯籠イベントです。) 11月…出水市大産業祭 (出水市内の産業イベント。出水市の特産品だけでなく、友好都市や姉妹都市の特産品も購入できます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「みんなでつくる活力都市 住みたいまち 出水市」 人口減少と少子高齢化が進行し、大きく変化し続ける時代にあって、豊かな自然と由緒ある歴史を持つ出水市が、今後も安心して暮らせるまちであるためには、市民一人ひとりが力を合わせて、活力ある産業や支え合いのまちを創っていく必要があります。 誰もが、ここに住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指します。	求める職員像	・高い志とプロ意識をもつ ・市民に寄り添う ・未来を切り拓く

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和4年度／一般事務職	令和4年度／建築技術職
志望した理由	大学時代にゼミで学んだ社会福祉の知識を活かし、子どもが生活しやすい地域づくりに携わりたいと考えたからです。きっかけは、学生時代に子育て支援ボランティア活動へ参加したこと。支援を必要としている保護者の方の切なる思いを耳にし、行政による環境整備が必要だと痛感しました。また、全国的に社会問題となっているいじめや児童虐待において、鹿児島県も例外でなく、年々増加傾向にあります。市職員としてこのような課題の解決に尽力し、子育てしやすいまちづくりに貢献したいと考え志望しました。	出水市の歴史ある街並みと建築物・景観をこの先の未来へ、いつまでも受け継がれるよう残し、守り続けていきたいからです。また、職員のエネルギーと市民の方々の街への愛と協働性に惹かれたからです。
入ってみたら こんな職場	業務にあたる中で判断に困る場合等もありますが、その都度正しい知識や根拠を確認して進めていくことで、入庁前には知る機会がなかった分野についての知見が広がりました。	厳しいイメージでしたが、実際は皆さん大変優しく和やかで、仕事も丁寧に教えてくれます。また、一つ一つの業務にも熱心で真面目さを感じています。さらに、市民の皆さんや仕事仲間など、常に相手目線に立って物事を考えられている姿も入庁して、素晴らしいと感じたことです。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	関係機関の方々と随時連携を取りながら、市政発展のために業務を行えることが魅力だと思います。また、様々な方との関わりを通じて、新たな発見や刺激を頂いています。	この仕事の魅力は、建物が完成する一連に携われることと、自分が関わった建物が地図に載ることだと思います。また、市民の皆さんが私たちの関わった建物を使用するところを見ると、より一層自分の仕事に対してやりがいを感じることができると感じています。
先輩職員から メッセージ	実際に市役所で働いてみて、入庁する前よりも今の仕事や職場環境に魅力を感じています。公私ともに充実した生活を送ることができる「ワークライフバランス」や風通しのいい職場、個性的で面白い職員もたくさんいます。多様な業務に関わりたい方、社会に新たな付加価値を生み出したい方、そして何より出水に魅力を感じている方。出水市役所でお待ちしています。	私は、歴史を大切にし、自然が美しい出水市に魅了された一人です。職員の皆さんは、そのようなまちの特性を一番に考えてまちづくりをしています。歴史と自然が素晴らしく、食も魅力あふれたこのまちでぜひ一緒に建築士としてまちをつくりましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○メンター制度 ○テレワーク、時差出勤 ○年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等 ○期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	148.82
人口	37,207
男	17,355
女	19,852
世帯数	19,559

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	451
一般行政	322
教育	78
消防	0
公営企業等	51
平均年齢	40.2

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は、薩摩半島の最南端、錦江湾口に位置し、観光業と農業が盛んな街です。 九州一の大きさを誇る池田湖、標高924メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南国ムード漂う長崎鼻、潮の干満で陸続きになる知林ヶ島を有しています。 ほかにも、世界的にも珍しい「天然砂むし温泉」や1日に10万トンも湧き出る清水を利用した「唐船峡そうめん流し」など観光資源が豊富で、年間約300万人の観光客が訪れます。	主なイベント (年間行事)	1月 いぶすき菜の花マラソン いぶすき菜の花マーチ 4月 九州オールスターフェスタ in 開聞 6月 山川みなと祭り いぶすきフラフェスティバル 8月 かいもん夏祭り 9月 指宿温泉祭 12月 いぶすき産業まつり 山川ふるさと歳の市
目指すまちの姿 (ビジョン)	「地域資源を最大限活用」するまちづくり 「生活の質の向上」を目指すまちづくり 「人づくり」を重視するまちづくり 「一人ひとりが輝く」まちづくり を基本理念とし、『豊かな資源が織りなす食と健康のまち』を将来都市像に掲げています。	求める職員像	“市民と共に 指宿の未来を描き 熱い情熱を持ち挑戦する” 職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和4年度／一般事務	令和3年度/技師 (保健師)
志望した理由	今まで培った経験を生まれ育った故郷に返したいと思い応募しました。また前職では休日を取得できなかったのが基本的に土日祝日が休日の公務員のライフワークに大きな魅力を感じていました。	卒業して2年間は看護師として病院で働いていましたが、入院している方だけでなく地域で生活する方の支援ができる保健師の仕事がしたいという思いはずっとありました。そんな中、保健師として働く同級生から仕事の話を聞いたり、熱心に指導してくれていた先輩看護師が保健師に転職したこと等がきっかけで「やっぱり保健師として働きたい」という思いが強くなり、保健師を募集していた指宿市を志望しました。
入ってみたい こんな職場	広報の仕事に携わっていますが、行政職の中でも異色の仕事だと思います。写真撮影や広報紙の編集作業するのでカメラや画像編集ソフトなど専門的な知識を必要とします。広報紙では各課の政策を取り上げているため、俯瞰で市役所の多くの事業を学ぶことができます。残業がほとんどなく、休日もしっかりと休めます。また、有休を5日以上取得することに職場全体が積極的で、効率的な仕事の仕方を考える環境があります。	指宿市は同じ係に保健師が複数人配置されており、困ったときや判断に迷ったときには、すぐに先輩保健師から助言をもらうことができるため、フォロー体制が整っていると感じます。さらに、入職して最初の1年は、先輩保健師が指導担当として1人付いてくれます。最初の頃は先輩と一緒に訪問や担当者会議に行き、仕事で困っているときには声をかけてくれ、何でも相談することができたため、安心して働くことができたと思います。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	初めて自分が撮影した写真が表紙を飾った時はとてもうれしかったです。取材を受けていただいた方からも広報紙に掲載してから良い影響があったと言ってもらえたり、特集などでは市の政策を市民の方に分かりやすく伝える工夫をしたり、やりがいがある仕事だと思います。	母子保健を主に担当していますが、初めての子育てに不安を抱えている方やお子さんの成長・発達を心配している方にたくさん出会います。保健師として情報提供をしたり、必要な支援につながるよう関わる中で、「〇〇が知れてよかった」「〇〇ができて安心した」と、表情が和らぐ様子が見れたり、いろんな方に見守られながらすくすくと成長し、元気いっぱい遊ぶお子さんの姿を見れたとき、心からよかったと思え、自分自身も元気をもらっています。
先輩職員から メッセージ	公務員は休日と給与が安定しており、ワークライフバランスもとれている職場だと思います。市民と関わる機会も多く、これまで学んできた経験が活かせる職業だと思います。県内屈指の観光地である指宿のために一緒に働いてみませんか。	地域の方々の生活を身近で支援するということは、市の保健師だからこそできることだと思います。ぜひ指宿市の職員として一緒に働きましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○アロハシャツで働きやすい環境 4月末～10月までアロハシャツが市民のユニフォームになり、職員もそれに合わせてアロハシャツを着用します。 ○新規採用職員へのサポート 同じ係内で「指導担当者」がサポートする『ブラザー＆シスター制度』により、仕事などの相談をしやすくします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、賞与に結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季特別休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	162.1
人口	12,973
男	6,128
女	6,845
世帯数	7,187

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7. 4. 1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7. 1. 1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	238
一般行政	145
教育	23
消防	44
公営企業等	26
平均年齢	40.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6. 4. 1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は、恵み豊かな錦江湾と優美な桜島を目の前に望む緑豊かなまちです。大隅半島の北西部、鹿児島湾に面するほぼ中央に位置し、薩摩半島と大隅半島を結ぶ海上陸上交通の要所で大隅半島の玄関口となっています。 道の駅たるみず湯たり館、森の駅たるみず、道の駅たるみずはまびら、千本イチヨウ園などの観光地があり、年間を通して多くの人々が訪れます。また、生産量日本一を誇るカンパチやミネラル豊富な飲む温泉水、焼酎などの特産品は、国内外問わず多くの方に親しまれています。	5月…垂水カンパチ祭り (垂水市の特産品である新鮮なカンパチを堪能できるイベントで、カンパチのつかみどり、解体ショー、漬け丼販売などが催されます。) 8月…たるみずふれあいフェスタ夏祭り (会場目の錦江湾から打ち上げられる花火は迫力満点です。県内外から多くの見物客が訪れる垂水市最大のイベントです。) 11月…たるみずふれあいフェスタ秋の産業祭 (垂水市の農産物や水産物、畜産物など垂水市の特産品の販売が行われるイベントです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「豊かな食と自然を未来へつなぎ みんなでつくる 笑顔であふれるまち 垂水市」 【まちづくりの視点 (基本理念)】 将来像を実現するためには、本市に携わる多様な主体が協働し、次の4つの視点で、まちづくりに取り組む必要があります。 ○地域の宝物:地域資源を積極的に活用します ○市民主体:自ら考え共に行動します ○次世代人材育成:地域“愛”を育みます ○安心・安全:みんなで支え合います	求める職員像 ★市民の視点で考え、共に行動する職員 ★目的意識を持ち、創造と改革に挑戦する職員 ★経営感覚とプロ意識を持ち、主体的に行動する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	平成30年度／一般事務	平成29年度／保健師
志望した理由	私が垂水市を志望した理由は、生まれ育った地元で恩返しをしたいとの思いからです。高校生になって初めて市外の学校に進学しましたが、人生の中で最も長きにわたって垂水市で過ごし成長することができたので、地元で恩返しをしようと考えたとき、様々な分野で地元住民の支えになれる市役所で働きたいと思い志望しました。	私が垂水市を志望した理由は、限られた資源で創意工夫し本市の実情に合った事業を展開し、健康長寿に貢献できることに意義を感じたからです。また、災害発生時の対策や迅速な対応等の取り組み、市民の災害予防への意識に感銘を受け、保健師として本市の健康危機管理に携わりたいという思いから志望しました。
入ってみたらこんな職場	業務の中には、1人では解決できない困難な案件が出てくることもあります。その際には近くに気軽に相談できる上司や先輩がいるため、安心して仕事に取り組むことができます。 また、休憩時間など仕事以外の話もしやすく、和やかな雰囲気で作られ、過度に緊張することなく楽しく業務を行うことができます。	周りの職員の協力があるため、子育てしながら働きやすい職場です。自分1人で解決することが困難なことも、周りがフォローしてくれるので、ワークライフバランスを保ちながら充実した毎日を過ごしています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	実際に給料の計算処理をすることで、就業規則や社会保険、税金など幅広い知識を得ることができます。 また、職員が安心して業務に取り組めるよう休暇や社会保障制度などの相談対応を行ったり支援を行うので、様々な分野で市民の方々のために活躍する職員を見ると喜びを感じます。	保健師として乳幼児期から高齢者まで様々な年代の方と関わる業務で、それぞれのライフステージにおける課題を見つながら、市民の皆さんの相談を受けたり、健康づくりのサポートを行っています。 「たるみず元氣プロジェクト」は垂水市の独自事業でとても魅力があります。また、乳幼児期に関わった子ども達の成長に嬉しさや驚きがあり、健康づくりに取り組む高齢者の活力に、私自身も元気をもらえるためやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所に入庁すると、様々な部署で仕事をし、それぞれの特色を生かし市政運営を行うことで、多くの知識、経験を積むことができ自分自身も成長することができます。 皆様と垂水市発展のために仕事ができることを楽しみにしています！！	垂水市役所には仕事に対する姿勢や気配りの面などで自分の目標になる先輩・上司がたくさんおり、一緒に働くことで自分自身の成長にもつながります。 垂水市の職員を目指している皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 先輩職員が講師となる「新規採用職員研修 (年2回)」や専門カウンセラーが講師となるメンタルヘルス研修、個別メンタルヘルス相談会等を実施し、入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等があります。また、子育てをする職員のための制度として育児休業、育児のための部分休業、育児短時間勤務などがあります。 ○各種手当 期末・勤勉手当 (ボーナス) のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。 ○システムによる適正な労務管理 出退勤システムにより職員の出退勤時刻を正確に把握することで長時間労働を抑制し、休暇取得を促進します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	253.01
人口	46,134
男	21,934
女	24,200
世帯数	22,614

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	476
一般行政	291
教育	59
消防	80
公営企業等	46
平均年齢	41.9

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市に、北はいちき串木野市と薩摩川内市に、南は南さつま市に隣接し、また、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と東シナ海に面しています。日置市は、妙円寺詣りや流鏑馬、せつべとべに代表される歴史的な伝統行事に、薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有しています。	主なイベント (年間行事)	6月…せつべとべ (日吉地域：八幡神社、鬼丸神社) (白装束の若者が肩を組んで円陣を作り、水を張った田んぼの中で踊り無病息災、豊年満作を祈願します。) 10月…妙円寺詣り (伊集院地域：徳重神社) (関ヶ原の戦いで敵中突破した島津義弘公の精神と遺徳を偲び、照国神社から徳重神社まで約20kmを歩きます。) 11月…流鏑馬 (吹上地域：大汝牟遲神社) (200mの間に置かれた3つの的に目掛けて射手が馬上から弓を放ちます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」 市民が安心・安全に生活でき、また、歴史的財産や自然資源、観光資源等を生かした交流・定住人口の増加を図ります。あわせて、人の優しさと地域の温もりを感じながら、子どもから高齢者までだれもが笑顔で希望にあふれ、ともに助け合いの心を持って暮らせるまちづくりを推進します。	求める職員像	1. 全体の奉仕者として高い使命感を持つ職員 2. 地域に密着し意欲あふれる職員 3. 経営感覚のある職員 4. 市民から信頼される職員 5. 市民の立場で市民と「協働」できる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和4年度／一般事務	令和5年度／建築技師補
志望した理由	私は日置市出身で、これまでずっと日置市で暮らしてきました。日置市は自然が多くのかで、伝統文化が根付いていて、何より人があたたかい素晴らしいまちです。これからもそんな日置市でずっと暮らしていきたいと思っていましたが、住んでいる地域のバスの本数が少なくなっていったり、商店街の活気がなくなっていったりしている現状を見て、大好きな地元を少しでも活気づけたい！地域を盛り上げる一翼を担いたい！と思い、市役所職員を志望しました。	私は、様々な自治体を調べていくうちに日置市では、様々な政策の根本に「市民が住み続けたいと感じるまちづくり」という理念を感じることができました。私もそのような理念のもと、建築の分野で少子高齢化の進行など、社会経済情勢の変化を踏まえた、より効果的で効果的な整備を実現したいと思い志望致しました。
入ってみたら こんな職場	市役所といえば、お堅く暗いイメージがあったのですが、入ってみるとそんなことはなく、毎日笑い声が絶えません。周りの同僚ともコミュニケーションが取りやすい環境なので、明るく楽しく仕事ができています。 また、市役所といった窓口対応・事務業務のイメージが強いですが、部署によっては、現場確認や取材対応といった外に出る仕事も多く、今まで知らなかった場所やイベントを知り、より日置市の魅力に気づけるため、さらに日置市のことが好きになりました。	入庁してみたら自分が所属している係だけではなく、他の係とも交流することが多かったです。 仕事を円滑に進めるためにも、他の係とも幅広くコミュニケーションをとることが大事だと実感しました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	私は入庁してから3年間、広報担当として地域の行事やイベントの取材に行かせていただきましたが、この仕事をしていなかったら出会えなかったであろうさまざまな人と出会えたこと、そして、そのかたがたに取材した記事を読んでいただけることに大きなやりがいを感じています。また、現在広報紙の作成を担当しているのですが、自分が携わったものが形となって、市民の方の役にたっている実感したときにもやりがいを感じます。	私の仕事のやりがいは、工事監理など責任のある仕事を任された時です。 携わった建築物は、何十年も形として残り、市民に利用されるので、直接的に地域のまちづくりに貢献できているということもやりがいを感じる瞬間です。
先輩職員から メッセージ	市役所の仕事は多岐にわたり、さまざまな面で市民のかたがたの生活を支えています。その分覚えることも多いですが、市民の方の笑顔やありがとうと喜んでいただいている姿を思い出すと頑張れます。 私は、仕事を「楽しむ」ことが大事だと思います。日置市はまだまだ可能性にあふれているまちです。そう考えると、なんだかワクワクしてきませんか？希望あふれるひおきの未来を、私たちと一緒につくっていきましょう！	志望先が求める人材として、困難なことにも粘り強くチャレンジする人を求めていると思います。 試験勉強はもちろん、日頃から困難なことでもすぐに諦めず、立ち向かって自分の魅力を磨いていくてください。 一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 先輩職員 (メンター) が双方向の対話を通じて、新規採用職員 (メンティ) のキャリア形成上の課題解決や悩みの解消を援助して個人の成長をサポートする「メンター制度」で入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワークが可能です。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇 (3日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 夏季休暇について、国の制度では取得可能期間が6月～10月となっていますが、それよりも長い『年度』の期間での取得を可能としています。 男性の育児休業取得にも積極的に取り組んでおり、令和6年度の取得率は46.2%となっています。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	603.17
人口	123,070
男	59,654
女	63,416
世帯数	62,880

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	1,090
一般行政	686
教育	160
消防	184
公営企業等	60
平均年齢	43.7

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	霧島市は、鹿児島県の中央部に位置し、空港や高速道路、鉄道が交差する交通の要衝で、人口約12万3千人の県下第二の規模を誇る発展を続けるまちです。 数々の世界的企業が立地し、革新的な製品を産出する工業地帯であるとともに、天孫降臨神話の地としても知られ、霧島神宮の社殿の一部が国宝に、鹿児島神宮の社殿が国の重要文化財に指定されるなど、歴史や伝統、豊富な自然・観光資源を有しています。 市制施行20年を迎え、これからますます発展する可能性を秘めているまちです。	主なイベント (年間行事)	7月…霧島国分夏まつり 1日目の総おどりは、約6千人が参加し、市内商店街を踊り歩きます。2日目は、昼に御輿が順々に街を練り歩き、夜は太鼓の音に鼓舞された男達が駆け抜ける国分寺御輿競走にてまつりのクライマックスを迎えます。 2・3月(旧暦1月18日を過ぎた最初の日曜日)…初午祭 南九州に春の訪れを告げる初午祭は、家内安全、五穀豊穡、厄払いなどを祈願する伝統行事です。 20数頭の鈴かけ馬と約2千人の踊り連が太鼓や三味線の音に合わせながら一体となって踊りを奉納します。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」 多くの人の訪れが、まちに「にぎわい」をもたらします。人が安全・安心な「くらし」を享受し、人と人とのつながりを通じた支え合いの中から「やさしさ」が生まれ、家庭・地域・学校など 様々な場面において人を「はぐくみ」、持続可能なまちが創造されます。 そのため、市民や企業・NPOなどの様々な主体がそれぞれの役割を担い、知恵を出し合いながら、人と人とのつながりを通じた課題解決に取り組む「きょうどう」のまちづくりを進めるとともに、これまで以上に、市民に「しんらい」される行政運営に努めます。	求める職員像	試験合格のノウハウに偏った人物ではなく、本市職員として働く熱意や使命感を持ち、多様化する市民ニーズに的確に対応するために、常に自己研鑽に励み、しなやかな発想ができる人物、主体性やバイタリティに富む人物を募集します。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	2015年度／一般事務	2019年度／土木技師
志望した理由	学生の頃の趣味が温泉巡りや登山だったため、霧島市の4つの温泉郷を巡ったり高千穂峰や韓国岳に登ったりしていました。大好きな自然に囲まれて仕事がしたいと思い霧島市職員を志望しました。	霧島市は、専門学校在学中の5年間を過ごした思い出の深い場所です。卒業後、民間企業で土木工事、プラント設備の建設工事を現場監督として勤めていたのですが、この経験を大好きな霧島市のために役立つことができたいと思い、志望しました。
入ってみたい こんな職場	数年に1度異動があるため、様々な分野の仕事に携わることができます。これまで私は、健康保険や広報、DXの分野に携わりました。それぞれの仕事で霧島市のために働ける喜びを感じることができそうです。 また、市役所と同じ建物に市立図書館があるので、昼休みや仕事帰りに立ち寄れますし、昼食は、市役所周辺にあるお店に食べに行ったり、市役所8階のレストランでピュッフェを楽しんだりしています。	霧島市は様々な事業に取り組んでいるため、仕事をしながら自分の能力を高めることができる職場だと感じています。自分の意見を発言しやすい職場であり、私たち技術職の場合、その意見は道路や橋梁、公園など形あるものに反映されます。技術力を高めるほど、自分が考えたものが形として残り、住みやすい街づくりにつながることを日々実感しています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	健康保険の部署では、住民の方と直接話をしながら手続きを行い、住民生活を支えるという仕事のやりがいを感じていました。現在のDXの部署では、デジタル技術を活用して職員の仕事を手助けしており、多くの職員と関わりながら問題解決をしていく楽しさを感じています。	私の職場における主な業務は、道路・水路の補修等の維持管理ですが、梅雨や台風による災害が発生した際には災害復旧事業も行っています。災害復旧事業は、個人が所有する農地も対象となります。本来であれば個人で復旧するところを、市が設計から工事まで行い復旧するため、農家の方から「ありがとう」という言葉をいただける機会が多く、「頑張ってよかったな」とやりがいを感じます。
先輩職員から メッセージ	市役所では部活もたくさんあり、私はバレーボール部と硬式テニス部、モルック部に入っています。社会人になっても仲間と楽しく体を動かせます。また、霧島市には鹿児島空港があるので旅行好きの方にはとても便利です。平日は霧島市のために働き、休日は霧島市の豊かな自然でリラックスして、おいしいお肉を食べるのもよし、いろいろな趣味を楽しむのもよし。皆さんも霧島市役所で一緒に働きましょう。	霧島市は交通の要衝であるため、小規模な修繕から大規模な工事まで様々な業務を経験でき、仕事にやりがいを感じることができそうです。また、県下第二の規模を誇ることもあり、職員数も多く、相談できる同期や頼りがいのある先輩がたくさんいます。是非、一緒に霧島市を盛り上げましょう。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○長期派遣研修 基礎自治体と異なる業務の研修を行うことにより、幅広い視野や深い思考力、高度な知識、しなやかな発想力を身につけることを目的として、国・県・他自治体等へ職員を派遣しています。 令和7年度派遣先：鹿児島県、全国市長会、地方公共団体情報システム機構、鹿児島県後期高齢者医療広域連合、鹿児島県文化振興財団(上野原縄文の森、みやまコンセル)、岐阜県海津市(姉妹都市) ○各種休暇 休暇年次有給休暇(年20日)、夏季休暇(5日)、結婚休暇(5日)、産前産後休暇、看護休暇などを取得することができます。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
---------	--



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	112.3
人口	25,808
男	12,237
女	13,571
世帯数	13,153

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	309
一般行政	189
教育	35
消防	51
公営企業等	34
平均年齢	43.4

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	いちき串木野市は、薩摩半島の北西部・東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北部に位置しています。 温暖な気候で、薩摩藩留学生渡欧の地としての歴史文化や徐福伝説、焼酎・つけあげなどの地元特産品を有しています。 また、市内には申請でおいしいまぐろ料理を提供している店が多数あり、さつまあげ発祥の地でもあるほか、焼酎蔵も多いなど、鹿児島らしい食の魅力がいっぱいです。	主なイベント (年間行事)	・冠嶽トレイルランニング (2月) ・観音ヶ池さくら祭り (3月) ・串木野浜競馬 (4月) ・串木野さのさ祭り (7月) ・いちき串木野サマーフェスタ・祇園祭 (7月) ・七夕踊 (8月) ・いちき串木野産業まつり (10月)
目指すまちの姿 (ビジョン)	本市の第2期総合戦略において、下記の4つを目指すべき将来の方向性と定めています。 ①若い世代の転入促進と出生数の増加 ②女性にやさしく、女性が活躍できる社会づくり ③雇用創出とリターン促進 ④愛着や誇りを育み、ずっと住み続けたいまちの実現	求める職員像	・礼儀正しさ ・責任感 ・協調性 ・法令順守 のほかに ・市民の期待や不安に答え、頼りになる ・市民と共に考え、共に行動し、前進する 職員を求めている、人物重視の採用試験を行っています

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和5年度／一般事務	令和5年度／土木技師
志望した理由	私は、人に喜んでもらったり、人の役に立ったりすることに生きがいを感じ、市民の方々の1番身近な場所で困りごとや悩みを一緒に考え、本市に携わる人々が笑顔で暮らせるような地域づくりに貢献したいと思い、地域住民の方々と深く関わることのできる市役所職員を志望しました。	本市が持つ豊かな魅力を守りつつ、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思い応募しました。 土木分野での学びを活かし、防災を意識したインフラ整備や老朽化した施設の保全、災害リスクを軽減する取組に携わりたいと考えています。 いちき串木野市の発展と住民の安全を支えるため、常に学び続け、責任感をもって職務に当たりたいと考え、応募しました。
入ってみたら こんな職場	様々な課がお互いに連携し合って日々業務を行っており、自分の所属課だけでなく多くの職員とコミュニケーションを取りながら働いています。 日々挑戦とやりがいの連続なのでとても楽しいです。 業務を通して人との繋がりが広がり、色々な面で学ぶことも多いので働きやすい環境だと思います。	前職では民間の建設会社でインフラ整備を行っていましたが、現在は農政課の一員として、主に農道、林道、ダム等の管理、農家さんからの要望の対応、工事の執行、県との調整業務等を主に行っています。 ハード関係の業務がメインのため、営農に直結することが多いので、農家さんからの意見を聞きながら慎重に業務を行っています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	実際に現場に出て活動することも多いので、施設を利用されている方と直接お話しする機会もあり、市民の方とコミュニケーションを取りながら楽しく業務を行っています。	先日、自分が入庁して初めて担当した現場が完成しました。 前職では工事を自ら行う立場でしたが、工事を発注し、受注業者とのやり取りし管理する立場となり、初めての完成を迎え、その工事を行うことで市民の方から喜んで頂いたことでとてもやりがいを感じました。
先輩職員から メッセージ	幅広い業務に携わり、様々な経験をしながらまちや人のために全力で働けるのが、この仕事のいいところです！	私は社会人経験を経て30歳代で入庁しました。 前職での仕事内容が現在の業務に活かしていますので、社会人経験者でも全然大丈夫です！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「指導職員」が入庁後6か月間、新規採用職員をしっかりとサポートします。 ○毎月1回の新規採用職員研修 本市のことや市役所業務を学ぶために毎月1回の研修を行っており、学びながら同期の交流を図っています。 ○仕事と生活の両立 毎週水曜日のノー残業デーや毎月1日以上のリフレッシュ休暇の取得を推進して、職員の働きやすい環境づくりに努めています。 ○各種手当 年2回の期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当や住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	283.59
人口	31,094
男	14,540
女	16,554
世帯数	16,619

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	487
一般行政	311
教育	36
消防	85
公営企業等	55
平均年齢	42.1

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県の西南端に位置し、三方を海に囲まれた自然豊かなまちで、国の名勝「坊津」や坊野間県立自然公園の指定を受けた景勝地を有しています。太平洋戦争末期には最後の特攻隊の出撃地、万世飛行場があった地でもあり、現在は、飛行場跡地に「万世特攻平和祈念館」を建立し、歴史・記憶を継承しています。観光面では、砂丘地の砂を活用した「吹上浜砂の祭典」を毎年5月に開催するほか、海山の豊かな自然を生かした各種アクティビティ、自転車を活用した特色あるまちづくりを行っています。	主なイベント (年間行事)	5月…吹上浜砂の祭典 市役所を中心とした「まちなか」で開催される、日本で最も古い歴史を持つ砂のイベント。砂だけで作られる精巧な砂像を各所に配置し鑑賞いただけるほか、各種体験コーナーやグルメ、日本遺産に登録される武家屋敷群のまち歩きなどを楽しめます。 5月…ツール・ド・南さつま 20年以上続くサイクルイベント。雄大な自然景観や起伏に富んだ走りごたえのあるコースを、各々のペースで楽しめます。沿道からの声援や充実したエイドステーションなどでの地元住民との交流も、魅力の一つです。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「住みたい 働きたい 訪れたい 誰もが主役になれる 南さつま」 住む人・通う人・想いを寄せる人、誰もが主役になれる「住みたい 働きたい 訪れたい」魅力あふれるまちづくりを力強く推進することで、次世代へつなぐ持続可能な南さつま市を目指します。	求める職員像	①市民を想い、目線を合わせ、まちのために働くことができる職員 ②夢を持ち、まちの未来を語ることができる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和3年度／一般行政職 (企業経験者)	令和3年度／土木技術職 (高校卒業)
志望した理由	大学進学と共に県外へ転出し、東京・福岡で企画・営業職として働いていたところ、地元鹿児島に貢献したいという思いから転職を考えはじめ、最も直接的に活躍できるのが市役所だと思い至り、出身である南さつま市役所を志望しました。	高校で「土木」が人々の快適な暮らしを支える多くの人々の生命や財産を守っていることを学び、人の役に立ち地域に貢献できる公務員の仕事に興味を持つようになりました。 南さつま市に地縁はありませんでしたが、移住定住や子育て支援など積極的に取り組む様子が魅力を感じ、土木の面からインフラ整備、防災面で貢献したいと思い志望しました。
入ってみたら こんな職場	職種は一般事務職ですが、前職の経験 (企画・営業) を生かし、新規事業の企画立案にも積極的に取り組んでいます。職場内のコミュニケーションも活発で、率直な意見交換ができ、風通しの良い職場風土だと感じています。 また、職場環境が良いことはもちろん、生活環境もとても落ち着いていて静かな所だと思います。生活するには困らない位に様々なお店があるので、スローライフかつ快適な日々を送れると思います。	現在、建設部建設整備課に所属し、土木工事の設計や発注を行っており、工事が円滑に進むように業者との打合せを密にとることを心掛けています。 また、高校で硬式野球部に所属していたこともあり、現在は、市役所のソフトボールチームに参加しています。学生時代と比べると体を動かす機会が減るので、とても良いいフレッシュになっていて、業務で関わる機会の少ない人との交流にも繋がっています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	1年目からでも自分が計画した事業やイベントなどに取り組める職場なので、計画が進んで形になった時に大変な事もありますが、やってみて良かったと感じます。 例えば、農産物PRの業務で関東圏でイベントを企画することとなり、それまで都庁で行っていたイベントをより大きいものにしたいと思い、知人を介しメディアPRも見込めるTBSとのコラボ企画を実現できました。	担当する工事が完成した時にやりがいを感じます。 業者と何度も打合せをし、苦労しながらも工事が完成すると、とても自分の成長を感じることが出来ます。 また、工事場所付近を通るときに、市民が安全に生活をしているのを見るときにもやりがいを感じます。
先輩職員から メッセージ	市役所に転職するまで県外で企画・営業の職業を複数経験しましたが、時と共に地元に対する思いが大きくなり、子育て等のライフステージの変化に合わせて、転職を決意しました。仕事のやりがいはいまさらのこと、働きやすい環境や子育て環境など、転職をして良かったと感じています。 仕事のやりがいや働きやすさなど魅力ある職場ですので、より良いまちづくりのためぜひ一緒に頑張りましょう。	初めての就職、初めての一人暮らしで当初は不安がいっぱいでしたが、先輩や同僚、地域の方々にとっても親切にしてもらい、今では公私ともにとても充実した生活を送れています。 工事の発注等で市民生活に直接貢献できるだけでなく、中長期的な整備計画などまちの未来を創る仕事に携われます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「育成指導者」が、入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇 (3日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	290.21
人口	28,688
男	13,779
女	14,909
世帯数	15,080

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	315
一般行政	251
教育	34
消防	0
公営企業等	30
平均年齢	42.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置し、東部は宮崎県串間市、西部は大崎町、北部は曾於市と境をなし、その一部は宮崎県都城市と接しています。 当市の強みは、九州唯一の国際バルク指定港湾（穀物）に選定されている志布志港であり、南九州地域の国内・国際物流の拠点となっています。また、東九州自動車道や都城・志布志道路の整備も進んでおり、今後更なる相乗効果が期待されます。 当市の魅力は豊かな自然や歴史であり、海や山はもちろん、国指定文化財である志布志城跡や武家屋敷の見学ができる志布志麓地区の散策も人気があります。	主なイベント（年間行事） 4月…お釈迦まつり 県下三大祭りである「お釈迦まつり」のメインは花嫁を乗せたシャンシャン馬や踊り連パレード。多くの市民も参加し、県内外から多くの観光客が訪れる大祭です。 9月…みなとまつり 志布志港旅客船埠頭を舞台に、約10,000発の花火が夜空と海面を彩ります。 11月…やっちく松山藩 秋の陣まつり 期間中のみ見ることができる「幻の一夜城」や奉納武者行列は迫力があり見ものです。
目指すまちの姿（ビジョン）	未来へ躍動する創造都市 志布志 ①「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりあるまち ②自然や風土と共生する安心で豊かなまち ③大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち ④生き生きと笑顔で暮らせるまち ⑤心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち ⑥人と地域が輝く共生・協働・自立のまち	求める職員像 ・市民生活の向上や地域発展に喜びを感じられる ・問題意識や改善意識を持ち、向上心がある ・周りと協力し、責任感を持ち粘り強く取り組める ・困難にも果敢に挑戦し、チャレンジ意欲や成長意欲がある ・深い郷土愛を持ち、人間性豊かで魅力がある

III 先輩職員の声

	先輩職員①（行政職）	先輩職員②（技術職）
採用年度／職種	令和2年度／一般事務	令和5年度／保健師
志望した理由	地元は市外ですが、幼いころによく遊びに来ていました。そこで感じていた温かさ等をこれからもつないでいきたいと思い、本市を志望しました。	人々の住み慣れた地域での暮らしに寄り添いたいと思い、行政保健師として働きたいと考えようになりました。 志布志市で大学の実習を行い、地域包括支援センターも直営でこどもから高齢者まであらゆる世代の方にかかわることができることに魅力を感じ、志布志市を志望しました。
入ってみたらこんな職場	地元が違う私に対しても先輩方が温かく接してくださり、分からないことがあれば気軽に先輩方に相談できる職場です。基本的には土日祝日が休みですが、災害や火災が発生した際には、休みの日でも出勤して対応することがあります。決して楽な仕事ではありませんが、お互いが協力し合って業務に取り組んでいます。	現在は成人保健分野を担当しており、特定健診を受けていただいた方の家に訪問したり、健診結果の説明を行っています。市民の皆さんとお話する機会も多く、地域の方々と直接かわっていく楽しさが大きな魅力です。 また、部署内に複数の先輩がおり、助言をいただきながら、業務を進めることができます。
仕事のやりがい（印象に残っていること）	今年の4月に初めての異動で、危機管理部署に来ましたが、今まであまり意識していなかった台風や地震等の災害に直面し、自分の無力さを思い知らされ、毎日の業務が勉強です。ただ、避難所開設の際に、避難者の方から「お家が怖かったから、避難所に来られてよかった」のようなお声をいただくようなときは、やりがいを感じます。まだまだ勉強ばかりですが、先輩方から指導いただき、知識・技能の習得に努め、自分の業務に取り組むことが出来ています。	関わりを通して、対象の方にどうしたらわかりやすく伝えられるか、やる気を引き出せるか迷うこともありますが、面接をした後に「あれからアルコールをやめたんだよ」「運動を継続しているよ」と話してくださったり、面接をした方が生き生きと生活されている姿を見ると、とてもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所の職員は、市内外の様々な人と関わる仕事です。人のために働くことをやりがいにする仕事と同時に、人から求められる役割も大きな仕事です。 また、市役所の仕事は、必ずしもやりたいたい仕事ができるとは限りませんが、そのひとつひとつが志布志市をよりよくすることに繋がっています。志布志市役所で共にたくさんのことを学びましょう。	志布志市の保健師として、市民の方の健康と生活を一緒に支援していきませんか？ 皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「指導職員」が入庁後6か月、新規採用職員をしっかりサポートします。 ○柔軟な働き方 テレワークや時差出勤制度を導入しており、多様なライフスタイルに対応できるよう努めています。 ○若年層での交流 若年層で組織される団体があり、ボランティア活動や懇親会を通じて、普段業務で関わることのない職員とも積極的に交流を図ることができます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇（年20日）、結婚休暇（5日）、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇（5日）等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	308.33
人口	40,239
男	19,373
女	20,866
世帯数	23,366

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	605
一般行政	454
教育	65
消防	0
公営企業等	86
平均年齢	40.7

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	奄美市は、平成18年3月20日の市町村合併により誕生し、中核都市としての機能を持つ名瀬地区 (旧名瀬市)、緑豊かな森林と清流を持つ住用地区 (旧住用村)、広い農地と美しい海岸線を持つ笠利地区 (旧笠利町) で構成されています。 令和3年7月26日に世界自然遺産への登録が決定し、この世界の宝を未来へ継承するために、自然環境の保全と持続可能な利用の推進に取り組んでいます。 また、島唄や八月踊りといった島ならではの伝統文化や、史跡・建造物など、有形無形の文化財が数多く遺されており、このような歴史とロマン漂う空間も魅力のひとつです。	主なイベント (年間行事)	○ 奄美まつり / 三太郎まつり / あやまる祭り 名瀬、住用、笠利各地区で特色のある祭りが実施されています。 ○ 市民体育祭 / 地区対抗駅伝競走大会 市内8地区対抗で、毎年熱戦が繰り広げられています。 奄美市民文化祭、朝花節大会、日本復帰の日のつどいなど、多くの行事が実施されています。
目指すまちの姿 (ビジョン)	自然・人・文化が紡ぐ しあわせの島 ～自然もひと多様性を尊重し合える なつかしい未来都市 奄美市～ ○みんなで生活満足度向上を目指します。 ○成長の源泉である元気な経済活動を目指します。 ○未来を担う次世代へ「しまの誇り」を継承することを目指します。 ※ 奄美市総合計画「未来の奄美市づくり計画」	求める職員像	○ 常に市民の目線に立ち、市民から信頼される職員像 ○ 仕事に対する問題意識を持ち、業務改善・改革に取り組む職員 ○ 効率的かつ確に職務を遂行できる職員 ○ 新たな時代の変化を確にとらえ、柔軟かつ積極的に対応できる職員 ※ 奄美市人材育成基本方針

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和5年度 / 一般事務	令和6年度 / 保健師
志望した理由	他県で育ちましたが、生まれ故郷である奄美が好きで、小さい頃から奄美出身の母と夏休みの度に島に遊びに来ていました。 大人になり、別の自治体職員として働いていましたが、奄美で生活したいという気持ちを諦めきれず、家族で移住しました。 将来、島を離れる子どもたちも「また戻ってきたい」と思える地域であり続けられるよう、奄美市職員として島の魅力を次世代へ繋いでいきたいという思いで入庁しました。	看護師として働いている時、退院された方はどう過ごしているのだろう、入院する患者さん達はどのような生活を送ってきたのだろう、と地域で生活する方々へ興味があり、保健師になりたいと思いました。 自然豊かで、気温も人も温かい、生まれ育った奄美に貢献したいと思い奄美市を志望しました。
入ってみたらこんな職場	私自身、他県からの移住者だったため、新しい環境に馴染めるか不安な気持ちもありました。しかし、若手職員のイベント動員や奄美まつりでのハブ隊への参加など、自身の業務以外でも同世代と仕事を通じて交流する機会が多く、すぐに打ち解けることができました。私のような奄美2世 (親が奄美出身者) や島外から移住してきた職員も多くいます。 また、国や県の機関に出向する職員も多く、自身の経験を上げたり、スキルアップに繋がる機会が巡ってくる可能性もあります。庁内での研修制度も充実しています。	現在は、母子保健分野に携わっています。初めての分野なので、悩むことや難しい場面と向き合うことが多いですが、先輩方がいつも優しくフォローして下さるので、気軽に相談できたりとても働きやすい環境です。母子保健は、毎月様々な事業 (健診や教室等) がありますが、沢山の関係機関・職種と関わりながら業務を行うため、交流もさかんでとても勉強になります。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	入庁後、DX関係の部署に配属され、職員の業務改善をサポートしたり、新しいシステムの導入や補助事業などを通して市民の皆さんに貢献できた時は、達成感がありました。また、常に観光客目線を心がけており、島外から知人が遊びに来てくれる時には、様々な案内ができるよう仕事や生活の中で感じる地域の魅力を自分なりに情報収集しています。実際に案内した知人から「時間が足りなかった、また絶対来る」と言われた時は本当に嬉しかったです。これからも奄美の魅力を伝えられるよう、日々努めています。	母子保健では、主に妊娠期～乳幼児期の関わりがメインとなり、母子が安心して生活できるよう切れ目のない支援を目指しています。妊娠前から関わり、その後も新生児訪問や産後ケア訪問、乳幼児健診などで母子の様子やお子さんの成長が見ることができ、私も癒しや元気をもらえます。大変なこともあります。妊娠・出産・子育てという女性にとって大事なその一瞬一瞬に携われることに、とてもやりがいを感じています。
先輩職員からメッセージ	奄美大島は、良い意味で「狭い世界」だと感じます。業務以外にも地域の方々と交流する機会が多く、市民の皆さんとの距離が非常に近い地域です。 離島ならではの不便な点も確かにありますが、それすらも魅力的だと思えるほど、ここにしかない豊かな自然を肌で感じながら生活できることが、何にも代えがたい奄美大島の魅力だと感じています。	保健師は、特に市民の方々と多く関わることでできる職種だと思っています。人との関わりの中で大変なこと・楽しいこと様々ありますが、自分のスキルアップにつながっていると思います。また、奄美市は和気あいあいと楽しく仕事ができる素敵な職場です。ぜひ、奄美市役所でお待ちしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○ 新規採用職員へのサポート 採用後に行われる「新規採用職員研修」において、奄美市が取り組んでいる施策の紹介、市内施設の紹介を行っています。 配属先の係長が「研修指導員」として、業務のサポートを行います。 ○ ノーネクタイを通年化 ○ 仕事と子育て・介護の両立支援制度 妊娠から子育て、介護等を支援する休暇制度 (結婚休暇、妊婦検診休暇、産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇、介護休業) があります。 ○ 若年層での交流 若年層で組織する団体があり、各種イベント等を通して多くの職員と交流を図ることができます。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	357.91
人口	31,457
男	14,858
女	16,599
世帯数	16,148

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	373
一般行政	296
教育	49
消防	0
公営企業等	28
平均年齢	45.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	南九州市の農業は、農業産出額ベースで、鹿児島県内順位4位、全国順位17位となっています。なかでも知覧茶は、荒茶生産量が国内市町村のなかで1位、その品質も農林水産大臣賞や全国産地賞を受賞するなどトップクラスです。 観光では、平和を語り継ぐまちの原点となる知覧特攻平和会館に多くのひとが訪れるほか、伊能忠敬が天下の絶景と称賛した番所鼻、瀬平自然公園や知覧武家屋敷などの見どころのある景勝地がたくさんあります。	主なイベント (年間行事)	4月…新茶・大野岳マラソンinえい (緑広がる茶畑や素晴らしい景観を楽しみながら、大野岳の山頂までを往復するコースを走ります。) 8月…平和へのメッセージ from 知覧スピリチュアリ (「あした いのち かがやけ」をテーマに世界の恒久平和を願い平和へのメッセージを発信しています。) 2月…川辺二日市・ちらんまち二日市 (歩行者天国となった商店街のメインストリートに露店が軒を連ね、多くの方が繰り歩きます。川辺二日市は南薩摩に春を告げる風物詩で県内「三大市」のひとつです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」の実現に向けて、恵まれた自然環境の中で、地域資源を受け継ぎながら、新たな魅力を引き出し、伝統ある地場産業、貴重な歴史・文化遺産などを最大限に活かしたまちづくりを進めます。また、少子高齢化・人口減少が進行する中でも、「住みたい・住み続けたい」と思われるような、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが希望に満ちて、活気あふれる南九州市を目指します。	求める職員像	① 現場主義に徹し、市民の視点に立つ職員 ② 積極果敢に挑戦し、実行力を有する職員 ③ 経営感覚を持ち、広い視野から考える職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	令和6年度／一般事務	令和6年／保健師
志望した理由	私の場合は、生まれも育ちも南九州市で、もともと地元への愛着が強かったのが大きな要因だと思います。なかでも商店街の、後継者不足や収入減などさまざまな理由で閉店に追いやられ、多くの店がシャッターを下してしまっている現状に何とかしたいと考えていました。 まちの人々がみずから地域活性化のため動いているのを、一緒に活動しつつその枠組みの一手外側からもサポートできるような仕事に就きたいと思い、市の職員として働くことを志望しました。	以前は高齢者部門で働いていましたが、若いうちから自分の身体のことを大事に思ってもらえるよう、地域の特性や食生活・運動習慣を踏まえて若い世代からの健康予防に努めたいと思い志願しました。
入ってみたらこんな職場	私は税務課の固定資産税係(土地や建物といった固定資産を評価・課税する係)に配属されました。学生時代に専攻していた科目とはかけ離れた部署に配属されたことに、仕事についていけるのかと初めは不安を感じていました。しかし、係内での研修も手厚かったうえ、実務の際は先輩職員がほぼ常に横について丁寧に教えてくださっていました。そのおかげで、2年目の今では新しく異動してきた職員の方に私が教える立場を担うことができるまでにになりました。安心してスキルアップに努められる、本当にありがたい環境だと思います。	事業が多く忙しい毎日ですが、みなさんとても優しく雰囲気がいいです。福利厚生が充実しており、1時間単位で休暇をとれるのでとても働きやすいです。 また、上期・下期の目標を立て評価をするので自分の成長したところや次回頑張るところなど自分の振り返りができるので、成長に繋がると感じます。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	税務課という部署の特性上、市民の方から感謝のお言葉をいただける機会はかなり限られてきます。逆に言えば、全くないわけではないということです。例えば、新しく住宅を建てられた方には家屋調査を行うと同時に、今後の納税に関して一通りの説明をさせていただいております。その際はなるべく安心して納税してもらえるように誠実な説明を心がけているのですが、その思いが通じて市民の方に「納税しやすくなった」と感じてもらっています。そのとき「ありがとう」と言うことができると、税関係の勉強をするのに大きな励みになっています。	以前関わらせていただいたご家庭で、お子さんが発語が少なく本人も思いを伝えられないため、かんしゃくを起こすこともありました。しかし、子どもたちは日々成長していくのでしばらくしてから言葉を発するようになり、言葉で表現できている様子を見て成長したなあ嬉しく感じました。
先輩職員からメッセージ	南九州市は日本一のお茶の産地であることが影響しているのか、職員はもちろんのこと市民のみなさんも、ゆったりとあたたかい雰囲気です。武家屋敷や平和記念公園といった観光資源も豊富なことから外部のお客様も多く、そういった方々と交流することで新しい刺激を得られるなど、自分の視野を広げるきっかけにもなっています。自分らしく成長できるこの場所です。皆さまと一緒に働けたら嬉しいです！	市役所は直接住民の方と関わることができ、地域に住んでいる方を対象にします。実際仕事をする中で、地域に住んでいると知らないことがたくさんあるなど感じています。 職場は自然豊かな環境で、とても優しい方が多いので安心して働くことができます。 みなさんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート「メンター制度」 同じ部署に所属する年齢の近い職員「メンター」が、業務や公に渡り入庁1年目の新規採用職員のサポートをします。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワーク(職員が居住している住宅で勤務)が可能です。 ○若手型人事評価の実施 上期と下期で年2回の評価期間があり、評価期間の開始に目標を設定します。上司は日常のマネジメントや進捗管理を行い、期末に面談を実施、実績等を振り返り、次期に向けた目標設定を話し合います。賞与等への処遇反映のほか、職員の育成に重点を置いた人事評価に取り組んでいます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、職員表彰休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	231.25
人口	78,123
男	36,847
女	41,276
世帯数	38,622

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	570
一般行政	374
教育	61
消防	98
公営企業等	37
平均年齢	41.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	始良市は、鹿児島県のほぼ中央に位置し、薩摩・大隅両半島の分岐点にあります。 鹿児島市・霧島市・薩摩川内市と接しており、鹿児島空港や鹿児島港へも近く、交通アクセスに恵まれているため、これからも大きく発展することが期待されています。 また、始良市は、国の民族文化財に指定されている「加治木町くも合戦」をはじめ、各地域に多くの伝統行事が受け継がれており、古い歴史と文化に育まれているまちです。 ちなみに、民間企業の調査において、県内住みこちランキング5年連続一位となっています。	主なイベント (年間行事)	6月…加治木町くも合戦大会 8月…始良市花火大会、加治木・蒲生太鼓踊り 11月…日本一大桶どんと秋まつり 2月…薩摩おどんカップ 3月…あいら春まつり
目指すまちの姿 (ビジョン)	可能性全開！夢と希望をはぐくむまちづくり ～ひとりひとりが主役 住みよい県央都市 あいら～ 本市は、自然災害から市民を守り、県央に位置する利便性や、自然の恵み、豊富な人材による知徳を活かしながら、都市的な機能の田園が融合したまちとして、持続的に発展させるために、本市の持つ潜在的な可能性を活かし、市民と一体となった、多様性豊かな魅力あるまちづくりを進めます。	求める職員像	1 地域社会への貢献意欲と使命感のある職員 2 政策形成能力を持つ職員 3 コミュニケーション能力を持つ職員 4 人間性豊かで、協調性とバランス感覚のある職員 5 時代の変化に対応できる創造性豊かな職員 6 幅広い視野と柔軟な発想を持ち、行動力・実行力のある職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	R7年度採用／一般事務	R7年度採用／土木技師
志望した理由	鹿児島県内で市役所職員として働きたいと考え、人口が増え続けている始良市に注目しました。調べていくうちに都市・歴史文化・自然の調和がとれたまちの魅力に惹かれ、「ここで働きたい」と強く思うようになり始良市を志望しました。	生まれ育ったこの始良市にとても愛着があり、土木を通して活気あふれる街づくりに貢献できるような仕事に携わりたいと思い志望しました。
入ってみたい こんな職場	すべての業務を完璧に覚える必要はなく、それよりも自分の言葉で説明できる力が大切だと感じました。学生の頃以上にアウトプット力が求められる仕事だと思います。 また、周囲と助け合いながら日々業務に取り組んでいます。困ったときには相談しやすく、あたたかい雰囲気の中で成長できる環境です。	思っていたよりも、市民の方からの道路に関する要望が多いと感じました。市民にとって不便な点が少なくなるように、より道路を気にかけて、維持管理に努めていきたいと思いました。 職場の雰囲気は、分からないことを尋ねても、優しく丁寧に教えてくださる働きやすい職場です
仕事のやりがい (印象に残っていること)	知識がないなかで、はじめは教えていただいてもなかなか理解できませんでした。少しずつ分かることが増えていくのは楽しいです。また、窓口対応をしていく中で、スムーズに対応できた時はやりがいを感じます。	自分が今まで通ってきた道路などの工事に携わり、その道路がより良いものになったときに、始良市に貢献していると強く実感できることが魅力だと感じています。
先輩職員から メッセージ	不安もあると思いますが、準備を重ねた分だけ自信になります。残りの限られた時間の中で体調管理に気を付けながら頑張ってください。皆さんと一緒に働ける日が来ることを、心から楽しみにしています！	試験も面接もリラックスして臨むことが大切だと思っています。自分のベストを尽くせるよう、頑張ってください！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○研修制度…新規採用職員を対象とした各種研修、人権啓発研修や人事評価研修などの独自研修、職員のスキルアップのための市外・県外研修等をおこなっています。 ○休暇制度…年次有給休暇 (20日)、健康増進休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当…期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○部活動…野球部、バレーボール、サッカー、ソフトボールなどオフィシャルな部活動が13団体あり、職員間で特技を活かしたワークライフバランスの維持が行われています。そのほかオフィシャルではないですが、釣りや育児、カメラ、歴史など趣味の範囲で独自に活動している職員もいます。
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	31.39
人口	344
男	176
女	168
世帯数	197

※面積は全国都府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	51
一般行政	31
教育	3
消防	0
公営企業等	17
平均年齢	41.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島市から南西へ100～150キロメートルの洋上にあり、東西に点在する「竹島」「硫黄島」「黒島」の三つの島から成り、錦江湾を出て、県本土に最も近い外海小規模離島の村であります。無垢の自然と貴重な伝統文化、歴史を有することから「日本ジオパーク」「県立自然公園」「国の天然記念物指定」「ユネスコ無形文化遺産登録」等、国内外から高い評価をいただいています。 役場本庁舎は鹿児島市にあり、行政区域外に役場を置く自治体としては3団体しかない特異な村役場です。	主なイベント (年間行事)	・MISHIMA CUPヨットレース (7月) H2に海を生かしたイベントとして開始し、県内最大のヨットレース。県内外から約40艇が参加 ・アフリカ音楽との交流 世界的ジャンベ奏者「ママディ・ケイタ」氏との出会いによりジャンベ (アフリカのパーカッション) を介した交流がスタート。 ・特攻平和祈年祭 (5月) 元特攻兵の方が、世界平和と南の海に消えていった仲間の鎮魂の為に観音像を建立し、本村黒島に特攻機が不時着した5月に実施。
目指すまちの姿 (ビジョン)	きらりと光るアイランドみしま 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする 2 地方とのつながりを築き、新たなひとの流れをつくる 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地	求める職員像	①豊かな人間性、柔軟な創造力、積極性等を兼ね備えた意欲に満ちた人 ②困難な仕事にも粘り強く取り組めるとともに、前例のないことにも積極的にチャレンジできる人

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和5年度／一般事務	令和3年度／保健師
志望した理由	私は、趣味でヨットをしており、三島村では毎年夏に『ミシマカップ』というヨットレースが開催されています。趣味を活かした行政職に興味をもったため三島村役場を志望しました。 また、前職では保険の営業職に就いていました。お客様第一を心がけていましたが、実際は自己・会社利益最優先の働き方をしてしまっておりました。公務員として働くことは住民の利益を最優先に考えることができ、本当に誰かの役に立てる仕事ができるのではないかと思います。やりがいを感じています。	前職が主に高齢者分野の業務で、母子や成人など幅広い分野の業務に携わりたいと思い、転職を決意したことがきっかけです。 三島村は人口の少ない離島で、保健師の役割も大きく、地域密着の保健師活動ができることに魅力を感じました。実際に島に行ったこともなく、「三島村」という島があることも知らなかったのですが、チャレンジしてみたいという思いが強くなり、志望しました。
入ってみたら こんな職場	三島村は、竹島・硫黄島・黒島の3つの離島からなり、行政区域に本庁のない珍しい自治体です。移動手段は村営のフェリーしかありません。 島内出張の際に、フェリーの中で住民の方にお会いすると、「元気でやっているか？頑張っているか？」など、地域住民と直接コミュニケーションをとれる機会が多いです。 住民からの依頼に丁寧に対応をすると、直接感謝の言葉をかけられることもあり、それが仕事のモチベーションにつながります。 三島村の人口はとても少なく、地域住民の生活に密着した仕事に携わることができ、地域社会の発展に貢献できるなど、様々な実績や効果を実感できる職場です。	少数精鋭の職員で多くの業務にあたっており、保健師も現在は3名体制ですが、入庁当初は2名で幅広い分野を担当していました。島への出張も多く、保健師業務以外にもイベントや地区行事の手伝いなど、島と本庁は離れていますが、島民と関わる機会も多いです。元々、幅広い分野の業務に携わりたいという思いがあったため、希望が叶ったと思っています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	現在、定住促進課に配属され、特産品のPRや島内でのイベントで関係人口や移住者を増やしていく仕事をしています。 島内でのイベントでは、企画から運営まで、住民や関係者の方、様々な業種の方と関わり、視野や人間関係を広げられることが魅力です。イベント等を通して人々に喜びや感動を提供できた時は、大きなやりがいにつながります。	保健師として働く中でまず1番に大事にしたいことは島民とのコミュニケーションだと思っています。人口の少ない離島でもあり、島民1人1人をよくみることで、声をきくことができ、向き合うことができる仕事だと感じます。島民の声を担当として事業に活かすことができることもやりがいです。また、島民との距離が近く、よく顔と名前を覚えてもらえて、島に行けば声をかけてもらえ、元気をもらっている部分も多いです。関係を大事にしながら今後も保健師の業務につなげていきたいです。
先輩職員から メッセージ	様々な仕事がある中で天職を見つけるには、最初の一步を踏み出す勇気が重要です。 一緒に行政職として地域貢献してみませんか？ 一緒に仕事できることを楽しみにしております。	慎重に選ぶのもチャレンジ精神で挑戦するのも、どちらもいい道だと思います。これから挑戦する皆さんがこの仕事に就いてよかった、この職場でよかったと思える仕事に出会えるように願っています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、特別休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	303.9
人口	18,696
男	8,780
女	9,916
世帯数	9,876

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	307
一般行政	179
教育	41
消防	50
公営企業等	37
平均年齢	42.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	さつま町は鹿児島県北西部に位置し、標高1,067mの紫尾山や町を貫流する南九州一の大河である川内川、田園や竹林、ホテルや温泉など、多くの自然に恵まれた風光明媚な町です。また、主要都市に通じる国道3路線が町の中心部で交差し、鹿児島市まで約70分、鹿児島空港まで約40分と交通アクセスも比較的良好です。	主なイベント (年間行事) 5月…奥薩摩のホテル舟運行 (自然豊かな川内川流域に生息する無数のホテル。樟差し舟で川下りを楽しみながら乱舞するホテルを鑑賞できるイベントです。) 8月…さつま町夏まつり (五ツ太鼓がにぎやかな音を轟かせ、神輿や手踊り連、ねぶたなどが練り歩く。花火やステージイベントも開催されます。) 11月…さつま町産業祭 & J A 農業祭 (地元をはじめ、友好交流都市である中種子町、青森県鶴田町の特産品の販売やステージイベント、抽選会など目白押しイベントです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町」 まちづくりは「ひと」が主役です。 「ひと」が主役の町を創造するために、地域の様々な課題について、町民、地域、各種団体、事業者、行政など多様な主体が共に連携し、語らひ、『自助』・『共助』・『公助』の役割を自覚しながら、『ひと』のふれあひと『まち』のにぎわひ、『自然』のうらおいを掛け合わせ、オールさつまの魅力とパワーを結集して、「みんなで紡ぐ さつま町」を目指します。	求める職員像 本町では、デジタル化の進展など時代の変化に迅速に対応するとともに、職員を「人的財産(人財)」と捉え、長期的かつ総合的な視点で職員の能力開発や組織力向上に取り組むため、令和7年3月に新たに「人財マネジメント基本方針」を定め、以下の4つの職員像を目指した人財育成に取り組んでいます。 ①町民感覚を有する職員 ②チャレンジ精神を有する職員 ③経営感覚を有する職員 ④豊かな人間性を有する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員①(行政職)	先輩職員②(技術職)
採用年度 ／職種	令和3年度/一般事務員	平成31年度/土木技師
志望した理由	生まれ育ったさつま町で就職したいと思ったことがきっかけです。一度は地元を離れて就職したいと考えたこともありましたが、しかし、年々人口が減少し少子高齢化が進んでいる中で、自分自身も社会貢献できる仕事に携わりたいと感じ受験しました。	在学時に専攻していた土木分野の仕事を探していたところ、さつま町役場が土木技師を募集していることを知りました。生まれ育った地域に恩返しできればという思いと、前職で工事の施工管理をしていた経験が活かせるのではないかと考えたことが公務員を選んだきっかけです。
入ってみたら こんな職場	仕事をするうえで、多くの人と関わることができ、仕事を通して多種多様な考え方や価値観と出会えることができます。また、社会情勢や人々の暮らしの変化など、日々移り変わりをしている状況の中で、すべての町民に対して平等なサービスを提供できることに魅力を感じます。	民間での仕事内容に比べて、行政は土木技師であっても道路、農地、水道など幅広く業務を行う必要があります。民間とは違う仕事内容に不安もありましたが、同じ土木技師の先輩方にフォローしていただきながら楽しく仕事ができている。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	現在、農政課でさつま町の基幹産業である農業の振興や施策に関する業務を行っており、特に米政策の推進やグリーン・ツーリズムの推進、農作業安全の推進、農業制度資金に関することなどを担当しています。多くの農家の方々と接することができるため、とてもやりがいを感じます。	(現在の配属は水道課) 蛇口を捻れば水が出る。生活の中で当たり前のことだと思っています。この当たり前を供給し続けることが水道課の仕事であり、生活の一部を陰ながら支えられる仕事にやりがいを感じています。 建設関係は完成したものか形として残るので、それらも達成感を得られる一因となっています。
先輩職員から メッセージ	さつま町に対する愛情が深い人やさつま町に貢献したいと思える人が向いていると思います。また、基本的に地域住民の生活に関わる仕事をしていくため、住民の声に耳を傾け、その要望を行政に反映していく強い意志がある人も適していると感じます。さつま町出身の方はもちろん、町外の方もさつま町をもっとよりよい町にしていけるように共に頑張っていきましょう。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。	在学中もしくは働きながら、就職活動や試験勉強をするのは大変だと思います。その中でも「なぜ、さつま町で働きたいのか。」ということを考える時間をしっかり作ることをおすすめします。 試験の志望動機のためだけでなく、採用後の働くモチベーション、多忙な時期や辛い時を乗り越える原動力に繋がると 생각합니다。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 入庁後、庁内での新規採用職員研修や、研修機関での階層別研修などの充実した研修プログラムで新規採用職員の育成をサポートします。 ○福利厚生 定期健康診断、人間ドック助成制度、メンタルヘルス対策、公務災害補償、鹿児島県市町村共済組合の福利厚生制度(関連宿泊施設利用助成制度等)、職員互助会主催の職員交流事業 など ○資格取得支援制度 業務に必要とされる各種資格取得に要する経費を助成します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇などの取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当などを支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	100.64
人口	11,913
男	5,721
女	6,192
世帯数	6,546

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	141
一般行政	108
教育	19
消防	0
公営企業等	14
平均年齢	42.4

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	本町の基幹産業は農業で、温暖多照に恵まれた気候と広大な農用地を背景に、米、果樹、園芸、茶、畜産等、多様な農産物や加工品が生産されています。中でも「うなぎ」や「フロイラー」は生産量日本一の産地として確立し、また、かごしまブランドに認証された大崎産マンガモも県内一の産地として知られています。	主なイベント (年間行事)	・ふれあいフェスタinおおさき ・くいの松原ビーチフェスタ ・カプト虫相撲大会 ・JAPAN Athlete Games in Osaka
目指すまちの姿 (ビジョン)	「まち・ひと・しごと 世界の未来をつくる 循環のまち」 「美しいふるさと大崎町を持続可能なまちとして、次の世代に引き継ぐ」ことを目的として、劇的に社会全体が変化の中で「美しいふるさと 大崎町」を次の世代に引き継ぐために「世代をこえた循環」、「資源の循環」、「経済の循環」を踏まえ、明確な将来像を描き、その実現に向けて取り組み、SDGs 未来都市の趣旨を踏まえ、SDGs 達成に積極的に取り組むとともに、他地域への普及展開を進めています。	求める職員像	住民満足度の視点を立ち、町民がどのように考え、何を望んでいるのかを知るために、町民との協働の手法などを行政運営の中に取り入れることができ、町民とともに町民の立場で考えられる職員 大崎町の限られた資源や人的資源の中で、効率的で効果的な行政経営を行うために、社会の動向を見極め、総合的、長期的な視点から、明日の大崎を描くことができる職員 仕事を通して自己実現や自己成長を目指し、主体性を持って積極的に仕事に取り組む、チャレンジ精神のある職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	平成29年度／一般事務職	平成27年度／建築技術職
志望した理由	大崎町を志望した理由は「地元の大崎町を多くの方に知ってもらいたい」というのが一番の理由です。ごみリサイクル率全国1位や陸上の聖地実現プロジェクトなど日本だけでなく世界にもPRできる地元大崎町を沢山の方に知ってもらおうことで、そんな町に住んでみたいと思う方が増え町が発展していくことに少しでも貢献できたらと思い志望しました。	これまで培ってきた建築の知識を活かし、地元の大崎町へ貢献できる仕事をしたいという思いからこの仕事を選びました。
入って見たら こんな職場	大崎町は、人材を大切にしている職場です。周りの上司や先輩などが積極的に先輩や新人職員とコミュニケーションを図り、仕事や他のことでも気軽に相談できる職場です。 また、研修等への参加も意欲的で人材育成にも力を入れています。	建設課は技術職の職員が数多く在籍し、とても賑やかで明るい雰囲気職場です。相談等も気軽にでき時には係を超えてアドバイスをいただくこともありとても働きやすい環境です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	入庁8年目で3箇所の異動を経験していますが、農政部門・保健福祉部門と住民の方と接する機会が多く、困っていることや役場へ要望したいことなどの意見を聞き、解決出来た時に感謝された時に町やそこに住んでいる方へ貢献できた実感することがありました。 また、人事部門では役場で働く職員のために出来ることはないかと模索し、職員が元気で活発に職務に取り組めることで住民サービスの向上に繋がったと思うことがありました。	建築係では主に町が所有する公共施設の新築や改修工事に関する業務を担当しており、工事に必要な図面の作成や工事費の積算、工事の安全や品質、工程の監理等を設計事務所の協力のもと行っています。 構想から完成まで解決すべき課題は多いですが自分の仕事の成果が目に見えるかたちで残るため完成後の達成感は大きくとてもやりがいに感じます。
先輩職員から メッセージ	地域に貢献できることは自治体職員でなくても出来ることはあります。しかし、自治体職員であるからこそ出来ることもあると思いますので町を活性化させたいと思う方はぜひ大崎町へ来てみませんか。 現在の職員と共に色々な取り組みにチャレンジしましょう。	公共施設は様々な種類があり小さな町だからこそ幅広い分野を担当することができ、日々新しい知識を深められます。 設計から発注、監督まで携った工事が完成した時にはやりがいを感じ、自分の仕事は町民の方々の生活に直結しているものと実感することができます。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	・市町村アカデミー等への研修実施 ・法制執務研修の実施 ・メンタルヘルスケアのためのストレスチェック実施
---------	--



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	27.78
人口	6,361
男	3,020
女	3,341
世帯数	3,250

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	92
一般行政	73
教育	10
消防	0
公営企業等	9
平均年齢	39.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	東串良町は、鹿児島県大隅半島のほぼ中央東端にあり、肝属平野にいだかれた町内は、傾斜地がなく緩やかで、平坦な地形となっています。気候は黒潮の影響を受けて温暖で、年間平均気温は17度。雨が多く、九州の特徴である台風上陸は年数回あります。このような特徴から本町は古くから施設園芸と超早場米の一大産地となっています。また、昔から海との関わりは強く、本町を流れる肝属川河口は、天然の良港として栄え、中国との文化・交流が盛んで外国貿易の根拠地であったと伝えられています。明治維新後も沖縄、南西諸島との交易があり、大正時代には大阪商船が週2回寄港し、旅客、貨物の輸送が行われていました。昭和になり、物流の変化から面影はありませんが、変わりに、柏原海岸沖合500メートルに国家石油備蓄基地が建設され、大型タンカーが入航するようになり、新しい名物となっています。	主なイベント (年間行事)	○4月上旬 ルーピン祭り ○5月 柏原大相撲 ○8月中旬 祇園祭 ○11月上旬 KAGOSHIMA outside Festival
目指すまちの姿 (ビジョン)	「個性豊かな活力あるまち」の創造を基本理念とし、「住みたいまち東串良」、「住んでよかったまち東串良」を目指します。	求める職員像	研修等を通じて、町民のニーズを的確に捉え、政策形成能力・問題解決能力・国際化・情報化の進展、環境問題に対応できる職員の育成に努めます。 また、柔軟で協調性のある職員を求めます。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	令和3年度/一般行政職	令和5年度/保健師
志望した理由	自分が子どもの頃から今まで過ごしてきた地域の方々温かさや東串良町の魅力をこれから伝えていくことがこれまで過ごしてきた東串良町への恩返し・貢献になると考え、それを実現することができるのが東串良町役場職員になることだと考え、志望しました。	東串良町で育ったピーマンや美しく咲き誇るルーピンが好きで、そのような自然豊かな環境で働きながら、住民に寄り添った保健師活動を行いたいという思いから志望しました。
入ってみたらこんな職場	入庁前は高校を卒業し、初めて社会にでるということもあり不安でいっぱいでしたが、毎日業務を行っていく中で先輩職員の支えもあり、仕事を行うことができています。役場のイメージとして静かに黙々と仕事をしているイメージでしたが、それぞれの課で和気あいあいとした雰囲気や働いているところや他の課の職員との交流もあり、入庁前のイメージとは異なり、明るく楽しい職場です。	入庁前はどんな職場なのか不安もありましたが、困った時には、いつでも親身になって丁寧に話を聞いてくださる上司や先輩がいるため、心強く、安心して業務に取り組むことができています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	異動する前の課では、東串良町の基幹産業である農業に携わる仕事をしており、農家の方々や接することが多い課でした。そこで、農家の方々の手助けになれるように申請の補助や手続きを行った際に感謝の言葉を掛けられた時にはやりがいを感じました。また、現在の課では町の予算や財政の業務をしており、東串良町の将来を見据えながら業務を行っているの以前所属していた課とは違うやりがいを感じながら業務を行っています。	保健師の業務は、すぐに成果が見えるものではありませんが、育児相談や訪問などを通じて継続的に関わること、相談者が前向きに育児に取り組む姿が見られたり、頼ってきてくれた相談者から「相談して良かった」と言われた時には、微力ながらも力になったのではないかと、やりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	役場の業務は住民の方々のために様々な業務の課があるため、業務は多岐にわたり、内容も幅広いです。自分自身も今年度総務課に異動をし、日々勉強の日々を過ごしていますが、自分の知識や経験を積み上げることができ、自分自身の成長につなげていくことができます。仕事は楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いこともあります先輩職員や同期の助けもあり働くことができています。これからの東串良町のために一緒に働けるのを楽しみにしています。	関わり方に悩むこともありますが、幅広い年齢層と関わることができ、多くの出会いがあるため、専門的な技術だけでなく、自分自身も成長できる素敵な職業であり、職場であると感じています。不安なこともあるかもしれませんが、親身になって相談に乗ってくださる先輩職員がたくさんいます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	福利厚生 定期健康診断、人間ドック助成制度、メンタルヘルス対策、公務災害補償、鹿児島県市町村共済組合の福利厚生制度など 休暇制度 年次有給休暇(年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇など 各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当など 研修 階層別研修、法制執務研修、人事評価研修、メンタルヘルス研修、県市町村自治研修センターにおける特別研修、Word・Excel研修など
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	308.04
人口	13,587
男	6,693
女	6,894
世帯数	7,416

※面積は全国都府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	202
一般行政	137
教育	22
消防	0
公営企業等	43
平均年齢	42.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	肝付町は、本土最南端の半島である鹿児島県大隅半島の南東部に位置し、JAXA内之浦宇宙空間観測所があるロケットの町として全国に知られています。 中央部には900m級の山々が連なる国見山系、北部には高隅山系や国見山系を源に発する肝属川の恵みを受けた肝属平野、南東部には急峻な山脈がそのまま太平洋に落ち込み50kmも美しい海岸線が広がり、山と海の豊かな自然に包まれた地域です。 平成17年、平成の大合併により高山町と内之浦町の2町が合併して「肝付町」となっています。	主なイベント (年間行事)	8月…うちのうらロケット祭り 10月…高山やぶさめ祭 (四十九所神社に奉納される流鏝馬に合わせて開催される町最大のイベントです。歩行者天国には露店が並びお祭りムード一色となります。) 11月…内之浦銀河マラソン 不定期…ロケット打上げ (JAXA内之浦宇宙空間観測所からは、人工衛星打ち上げ用固体燃料ロケット「イプシロン」や「観測ロケット」の打上げがあります。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「自然資源」、「歴史遺産」、「宇宙」というテーマを核として、地域資源を最大限に活用し、またブラッシュアップを行いながら、時代のニーズに合った持続可能で魅力あるまちづくりを推進しています。同時に、町内外から新しい視点を取り入れ、まちの魅力をさらに発掘することで、住民に還元できるシステムづくりを目指します。	求める職員像	①挑戦する職員 意欲的に業務や自己啓発に取組み、問題意識や改善意識を持って、失敗を恐れず挑戦できる職員。 ②住民目線で考える職員 常に公平・中立の立場で、住民目線でのサービス向上や真摯な行動ができる職員。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	一般事務	技士
志望した理由	学生時代に過ごした肝付町に恩返しをしたいと思い志望しました。	県外に出て学んだ知識を地元への貢献に活かしたいと考えて志望しました。
入ってみたら こんな職場	専門的知識や経験がない業務が多く不安でしたが、先輩方から温かくサポートや指導をいただけるのでスムーズに取り組むことができました。	業務に関しては、先輩方から優しく指導いただけるので問題ありませんでした。イベントに対する職員の取り組みや一体感に驚きました。町に対する思いの現れだと考えます。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	担当したイベントや町行事などに従事し、無事に終了した時は、すごく達成感があり次への活力に繋がります。	事業が完成した時に、地元住民から感謝の言葉を頂くことが多くやりがいや、次への活力に繋がります。
先輩職員から メッセージ	町の職員は、地方自治・行政現場の最前線業務を担っています。直接住民と接する業務が多く、業務内容や要望等への対応は、大変なこともあります。同時に大きなやりがいのある仕事でもあります。	住民と接する業務が多く、大変なこともあります。感謝の言葉をもらう機会多くやりがいを感じます。自身の経験や能力向上に繋がる仕事も多く、ステップアップを図れる職場です。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○職員のサポート 新規採用時や1年経過時等の節目や希望に応じて、産業カウンセラーによる相談対応やアドバイス等のサポートを受けることができます。 また、各種のトラブル対応や法律相談を始め、カスタマーハラスメント対応等については、顧問弁護士によるサポートを受けることができます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得により、仕事とプライベートの両方を充実させることができます。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	136.94
人口	7,101
男	3,406
女	3,695
世帯数	3,991

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	146
一般行政	117
教育	16
消防	0
公営企業等	13
平均年齢	40.7

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	昔から種子島には多くの伝統的な唄や踊りがあり、民謡の宝庫と言われてきました。もちろん中種子町でも各集落の保存会や有志によって郷土芸能が受け継がれています。郷土芸能の保存会などを中心に文化祭や農林漁業祭など町のイベントでも披露され、郷土芸能の保存や伝承のため積極的に活動しています。 また、太平洋と東シナ海の間に浮かぶ自然豊かな種子島は山の幸、海の幸が豊富。中種子町の家庭や宴会では、四季折々の天然極上の食材に溢れる島の恵みを家族や仲間と語らいながら味わいます。	主なイベント (年間行事)	よいら〜いき祭り (夏祭り) 町民文化祭 町民体育祭 農林漁業祭 町相撲大会 独身男女交流イベント スポーツ合宿 (プロスポーツ選手、実業団、大学、高校のスポーツ先週が年間を通じて来町し、合宿を行っています。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	美しいふるさととの自然をと、誇り高い伝統を愛し、みんなの力を合わせ限らない郷土の発展 将来像 「よいら〜いき」でつなぐ人の和と豊かな自然が織りなす「躍動なかなね」	求める職員像	・長期的な視点にたち、自ら学び、積極的にチャレンジする職員 ・時代の変化や新たな課題への対応力、創造的思考と新しいアイデアを持って地域の発展に寄与する職員 ・自分の役割や責任を理解し、専門的スキルと知識を持って業務に取り組む職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	平成29年度／一般事務職	平成30年度／保健師
志望した理由	地域の人たちの温かさに触れ、豊かな自然と海を感じることができると生まれ育ったこの町に少しでも貢献したいと思い、直接的に活躍できる中種子町役場に志望しました。	中学生の時に、闘病中だった祖母を亡くしたことをきっかけに医療の道へ進みました。高校卒業後は、「いつか地元に戻ってきたい」という思いを胸に、進学のため地元を離れたのを覚えています。 看護師として働く中で、病気を抱えながらも地域で生活している人の支えになりたいという思いが強くなり、保健師に転職しようと考えていた矢先に、地元である中種子町での募集があったため、志望しました。
入って見たら こんな職場	役所と聞くと堅いイメージになりがちですが、実際の職場は和気あいあいと明るい職場です。 業務内容は多種多様で、各種申請窓口の仕事だけでなく、企画、広報、水道の管理など、異動をすると転職かな？と思うくらい内容が異なりますが、上司や先輩たちが積極的に新人職員にコミュニケーションを図り、気軽に相談しやすい温かい職場です。	なんといっても「中種子町の人は温かい！」と思ったのが、地元に戻ってきて率直に思った感想でした。困ったことがあれば、気軽に相談できる環境に何度も救われ、家庭を持った今でも、たくさんの方々に支えられながら子育てと仕事を両立しながら今日まで保健師を続けられています。町のイベントでは、職員一同となって町を盛り上げることも魅力的です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	イベントの運営を担当した際、自分で一から計画を考える中で、事前に多くのことを調べて準備するのが大変ですが、参加者が楽しそうに活動している姿を見たり、「ありがとう」などの声を掛けていただいた際に、自分と地域とのつながりや、自分の仕事が町民の役に立っているという実感を得ることができ、日々の業務のモチベーションにつながっています。	人がとても温かく、小さな町だからこそそのつながりが強いので、住民の方々から学ばせて頂くことがたくさんあります。課をまたぎながら保健師みんなで協力し合い、乳幼児健診や特定健診など、子どもから高齢者まで関わることが出来ます。離島ならではの課題もありますが、住民自身が住み慣れた地域で自分らしく生活していけるよう、一緒に考え支援させて頂ける環境をありがたく思っています。人と人との関わりなので大変なこともありますが、感謝の言葉をもらったり、地域で声をかけてもらえる関係性にとってもやりがいを感じています。
先輩職員から メッセージ	日々、様々な業務に取り組む中で成長し学ぶことがたくさんあります。新たな環境に挑戦することは不安や大変なことも多いと思いますが、優しく温かくご指導してください。上司や先輩たちの皆さんがたくさんいます。 ぜひ、一緒に中種子町役場で働きましょう！	どこの職場も慣れるまでは大変だと思いますが、職場の先輩方がとても優しく、相談ごとには親身になって話を聞いてくださるので、プライベートも充実させながら楽しく働くことができる職場です。 きれいな海と自然豊かな環境で一緒にお仕事してみませんか？

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 入庁後すぐに、総務課職員から、行財政等 (文書構成・伝票・契約等) 様々な研修を行い、新規採用職員をしっかりとサポートします。 ○柔軟な働き方 フレックスタイムや時差出勤制度を導入しており、多様なライフスタイルに対応できるよう努めています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇 (5日)、夏季特別休暇 (3日) 等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	109.94
人口	5,196
男	2,610
女	2,586
世帯数	2,872

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	105
一般行政	78
教育	11
消防	0
公営企業等	16
平均年齢	43.6

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	南種子町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、起伏の多い丘陵地帯で中央は海拔200m、中央から西部にかけては、最も年代の古い古代第三紀層で河川が多く、流域の沖積層には水田が広がっています。天文12年(1543)、ポルトガル人が乗った明国船が種子島最南端の浜に漂着し、鉄砲伝来の地として歴史的な由来を持つ。現在は、日本の科学技術の粋を集めた種子島宇宙センターがあることで、歴史と未来が共存する町です。 超早期米「コシヒカリ」の出荷や全国区ブランドの「安納いも」など、その温暖な気候と恵まれた農地を活かした農業が、この町の基幹産業です。また、その他に、西日本屈指のサーフスポットとしても知られ、「秒速5センチメートル」など、アニメや漫画の舞台となったことで、「聖地巡礼」としても注目される島です。	主なイベント (年間行事)	3月…種子島ロケットコンテスト大会 8月…南種子町ロケット祭 11月…南種子町ふるさと祭
目指すまちの姿 (ビジョン)	本町は、豊かな自然環境に加え、種子島宇宙センターや鉄砲伝来の地、そして、国指定文財である広田遺跡など、多様な地域資源を有しています。これまでの歴史の中で形成されてきた、特化した本町の地域資源は今後も、その価値を継承し、有効活用しながら進化させていくことが重要です。本町の「第六次長期振興計画」で設定されている将来像「みんなであつこう 夢・希望・感動あふれるまち みなみたね」を実現するため、本町が目指すべき姿として、①地域資源を生かしながら、将来を担う新たな産業の創出によるまちづくり ②南種子と関わり、繋がることでひとの循環が生まれるまちづくり ③南種子を愛し、新たなチャレンジをするまちづくり ④持続可能な社会を目指すまちづくりの4項目を設定し、目指すべき姿を実現します。	求める職員像	①豊かな人間性、柔軟な創造力、積極性等を兼ね備えた意欲に満ちた人 ②困難な仕事にも粘り強く取り組めるとともに、前例のないことにも積極的にチャレンジできる人

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	2012年度 (平成24年度) / 一般事務	2006年度 (平成18年度) / 建築技術職
志望した理由	南種子町出身で、大学生になって初めて島外にでました。 異なる環境で生活するうちに、地元のあたたかな人間性や風土、文化など、地元で過ごす中では全く気付かなかった魅力に気づきました。 また、「種子島」の知名度の低さにも驚き、この素晴らしい島、町をもっと知ってもらいたいという思いと私をあたたく育ててくれた地元で少しでも貢献したいという思いから、ちょうど募集が出ていた南種子町役場の採用試験に応募しました。	県内の設計事務所等で働いていたが、少しでも地元の南種子町でこれまで培ってきた建築の知識を活かし貢献できる仕事をしたいという思いから志望しました。
入って見たら こんな職場	役所と言えば、やはり堅苦しい印象があるかと思いますが、職員数が少ないため、同僚はもちろん上司とも自然と距離が近くなり、和気あいあいとし、良いコミュニケーションを取りながら仕事に取り組むことができます。また、それは対住民も同じで、常にコミュニケーションを取りながら、皆で地域課題解決に取り組んでいくアットホームな職場です。 また、日本唯一の大型ロケット発射場があることから、ロケット打上をいつでも見ることができ環境はもちろんです、離島の田舎でありながら、ロケット等を通して、地元以外の方とたくさんの方と出会うことができます。	設計書や図面の作成だけでなく、工事の発注、補助事業や施設の管理など、幅広い業務に携わります。業務を進める上で、民間企業や学校関係者、町民とさまざまな立場の人の間に立って調整する必要があるため、円滑なコミュニケーションが求められる職場だと感じています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	毎年私たちの町では「ロケット祭り」という名前の夏祭りを開催しており、約5,300人程の町でありながら、祭り当日は全国から1万人を超える来場者があります。 その祭りの運営を担当した際には、企画段階から地元の関係者と一緒になって話し合い、様々な準備を行い、当日は、役場職員及び関係者の総力を挙げて祭りの成功に向けて取り組みます。その過程は、不安と非常にプレッシャーのかかる日々でしたが、来場された方が笑顔で祭りを楽しむ姿や声を見聞したり、無事故事故もなく祭りが終了したことで安堵や達成感、やりがいを感じました。	この仕事の魅力は、建物が完成する一連の業務に携われることもあるが、一番は完成した建物が何十年も形として残り、町民に利用されることで、直接的に地域のまちづくりに貢献できていると感じること。
先輩職員から メッセージ	役場職員という職業は、華やかさのある職業ではないかもしれませんが、しかし、小さなことから大きなことまで、町として、その町に住む方々の生活を支える重要な役割を果たしています。その中で自分自身の存在価値を見つけ、一歩一歩、成長していくことができます。 私たち職員、そして住民と町を楽しく盛り上げていきたいと思います。	南種子町は『鉄砲伝来のまちと宇宙センターのある町』であり、歴史と未来をつないで、町おこしをしようとする前向きなまちであり、自由な発想と地域を元気にしていこうと雰囲気にも満ちた職場です。 一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇 (5日) 等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当、特殊勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	540.44
人口	11,017
男	5,403
女	5,614
世帯数	5,725

※面積は全国都道府県市区町村別面積調（R7.4.1）による。

※人口・世帯数は住民基本台帳（R7.1.1）による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	184
一般行政	131
教育	19
消防	0
公営企業等	34
平均年齢	41.3

※令和6年度給与実態調査等（R6.4.1現在）による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	当町は、県本土最南端の佐多岬から南西方向約60kmに位置する人口約1.1万人、面積約540平方キロメートルの屋久島と口永良部島からなる豊かな自然に囲まれたまちです。 屋久島は、平成5年にユネスコによって日本で初めて世界自然遺産に登録され、平成17年にはラムサール条約、平成28年には屋久島・口永良部島ユネスコエコパークとして登録されている日本で唯一のユネスコ3冠の島です。 南の島ですが、山頂では北海道並みの気候となり、屋久島だけで日本列島すべての自然を網羅することができるなど、世界中の人から一度は訪れたいといわれる場所です。	2月…ふるさと産業まつり（屋久島の農林水産業の振興を図ることを目的にしたもので、姉妹盟約都市の特産品等も出品されるイベントです。） 2月…サイクリング屋久島（エコな乗り物「自転車」に乗って、屋久島の大自然を体験してもらうイベントです。） 8月…屋久島ご神山まつり（山岳信仰を踏まえた伝統・文化の継承を目的とした夏祭りです。） 11月…屋久島夢まつり（屋久島の人々、子どもたちの夢や願いを込めて、1万4千の灯籠に灯りを灯すイベントです。）
目指すまちの姿（ビジョン）	「悠々の流れの中で、自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、人々の営みが循環・維持していくまち」 あらゆる人が輝き、住民自らの手でつくる屋久島スタイルのまちづくりを進めていきます。	①職員自らの責任において社会の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる人 ②多様化する住民のニーズを的確に捉え、限られた財源を有効に活用できる人

III 先輩職員の声

	先輩職員①（行政職）	先輩職員②（技術職）
採用年度／職種	平成29年度／一般職	令和元年／土木
志望した理由	世界自然遺産「屋久島」に興味があり、大学時代、観光で初めて屋久島を訪れました。屋久島の大自然と、そのとき関わった人々のあたたかさ魅了されたこともあり、就職活動を行う中で選択肢の一つとして屋久島が入りました。資格もなく、特に夢もなかった私でしたが、「身近な人の役に立ちたい」「屋久島に住んでみたい」「屋久島役場で働いてみたい」という思いが強く、志望しました。興味本位で志望し、縁あって就職できましたが、今後も屋久島役場で働く予定です。	大好きな故郷へ帰りたい！という思いが強く、その中で自分のこれまで学んできた土木工学や前職（地方公務員）での経験等を存分に活かせる職を探したところ、屋久島町役場がぴったりだと感じたので志望しました。 地元のまちづくりに携わり20年後、30年後に多くの世代が住みやすいまちを作りたいと考えています。
入ってみたらこんな職場	心配していた人間関係については、もちろん職務中は役職や年齢など考慮していますが、悩んだときには気軽に相談でき、また助言も与えていただき、頼りになる上司・同僚ばかりです。町のイベントの役員や草刈りなど作業もあります。地区行事も楽しく参加できています。屋久島ならではの地域性のおかげでいろんな経験ができ、人間関係も築くことができ、公私とも支えられています。また、令和元年に完成した、地杉がふんだんに使われた香り豊かな木造庁舎で、山や海を眺めながら気持ちよく仕事ができ、そんな環境で仕事ができることは幸せだなと感じています。	土木係では道路や河川・港湾といった社会基盤施設の維持管理をはじめ、農業施設、都市計画など多岐にわたる業務を取り扱っていることから、覚えなければならないことがたくさんありますが、先輩方がしっかり支えてくれるおかげで何とかなっています（何とかして頂いております）。 人数が少ないため「協力し合って皆で進めていこう」をモットーに他愛のない会話を織り交ぜながら日々の業務に動んでいます。
仕事のやりがい（印象に残っていること）	観光まちづくり課に配属され、新型コロナウイルス感染症に伴い観光事業者を対象とした給付金事務を通して観光立町としての「屋久島」を考えさせられ、終息に向かい観光PR活動を行う中で、屋久島の偉大さを観光客から改めて教えていただきました。その方々の思いや屋久島の不便さも含む様々な意見を基に観光パンフレットやポスター、PR動画などを制作し、屋久島の魅力として発信しています。役場の業務は、対住民の仕事もやりがいを感じますが、職種によっては島外の方々との繋がりがたくさんあり、屋久島をより多くの方に知っていただき、何か手助けができれば、感謝のお言葉をいただけることもやりがいの一つです。	私が最初に受け持ったのは砂利道に舗装を行う工事でした。複雑な工事ではありませんでしたが、受注業者や近隣の方とのやりとり・県への申請など慣れない作業に右往左往したことをよく覚えています。ですが、工事が無事完了しそれまでは見えない道路が出来上がったときは大きな達成感がありました。今でもその道路を利用している人を見ると少し嬉しくなり、この仕事に携われてよかったと感じます。
先輩職員からメッセージ	私の仕事は住民のため、大好きな屋久島のためになること。思いが仕事を通じて反映され、直接「ありがとう」「助かりました」と言っていたら、と「頑張ってたか」と達成感を味わうことができ、「もっとこうしたい」という活力になります。自然が好きの方は休みの日に登山をしたり、水のアクティビティを満喫でき、自分の時間を大事にしたい方や人との繋がりを大事にしたい方にもピッタリな場所です。屋久島で働いてみませんか♪	私たちの仕事は地図として記録に残り、ずっと先の未来まで残るまちや施設をつくります。屋久島町というまちを思い描くまちづくりや道路や河川、港湾整備（維持管理）といったハード面での町造りに興味のある方はぜひ一緒に仕事をしましょう。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○安全で快適な職場環境 令和元年に完成した地杉の製材を活用した美しい架構と香り漂う屋久島らしい空間で、心地よく働くことが可能です。また、安全で快適な職場環境を維持するため、産業医、衛生管理者による職場巡回を実施している他、健康診断の実施とその結果に基づく措置を行い、職員の健康維持・増進に努めています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇（年20日）、結婚休暇（5日）、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	103.07
人口	1,604
男	789
女	815
世帯数	966

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	65
一般行政	50
教育	7
消防	0
公営企業等	8
平均年齢	44.2

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



宇検村のシンボルマーク「ウーケツ」

II 自治体の紹介

特徴・魅力	本村は、鹿児島県の南方383Km、奄美大島西部に位置しています。海抜694Kmの標高を持つ「湯湾岳」があり、この頂から太平洋と東シナ海に浮かぶ島々を望むことができます。頂上一帯の国有林の一部は昭和49年2月に国立公園に指定され貴重な動植物が群生しています。シマ(集落)は焼内湾の沿岸に沿って点在し、その入江は天然の良港として知られ、マグロ等の養殖が盛んに行われています。また、倉木崎の海底遺跡から出土した12世紀から13世紀の遺物から、古来中国交易船が往来する海上の要衝であったと思われる、歴史的にも重要な位置にあると想像されます。	年間通じて様々な行事がありますが、代表的なものを紹介します。 8月・9月…各集落豊年祭 (集落の安全や農作物の五穀豊穡を祈願する伝統行事です。豊年相撲や八月踊りなど多彩な催しが各集落で行われ大変盛り上がりします。) 11月…宇検村やけうちとんと祭り (保育園児や宇検村連合青年団の舞台発表、ライブなど様々な催しが開催されます。また、夜空に咲く水中花火は必見です!! 焼内湾を目前に迫力ある花火を鑑賞できるのも魅力の一つです。)
目指すまちの姿(ビジョン)	宇検村(シマ)らしさを全開!をキャッチフレーズに 「ゼロカーボンプロジェクト」・「地域・ひと機能強化プロジェクト」・「住んでみたい村プロジェクト」を重点プロジェクトとし、【結いのこころ】のつながりや支えあいを大切に、村民の参画と協働を推進することにより、すべての村民が安心して生き生きと暮らし、未来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長できる村を実現します。	求める職員像 ①自らの役割を常に認識反省し、相互の融和と協調をはかり、積極的に業務の遂行に努める人 ②業務がより早く正しく行われるために、積極的にその改善に努める人 ③奉仕の精神のもと、公平かつ中立を守り、積極的に村民へのサービスに努める人 ④品位の保持向上をはかり、相互の人格を尊重し、積極的によりよい業務環境の確立に努める人

III 先輩職員の声

	先輩職員①(行政職)	先輩職員②(技術職)
採用年度／職種	令和7年度/一般事務	平成28年度 / 農業技術
志望した理由	常々、「生まれ育った宇検村で働きたい」「少しでも宇検村に貢献できる仕事に就きたい」という想いがありました。今回、採用試験の情報を知り、この想いを実現するよい機会だと考え志望しました。	実家がたんかんを栽培しており、将来は島に帰ってたんかん農家になるために鹿児島県立農業大学校へ進学しました。卒業後は両親からすぐ就職するのではなく、農業大学校へ進学した経験を活かして行政職へ就いてはと薦められたため、奄美大島内で農業技術の職員を募集していた宇検村を志望しました。
入ってみたいこんな職場	「とてもあたたかい職場」です。今年度入庁しましたが、些細なことでも上司や先輩に報告・相談ができる環境があるため、安心して働くことができています。また、職場内の雰囲気があたたかいので、村民が気軽に立ち寄ることができ、住民の声を住民サービスに活かしやすい環境があります。信頼関係のあるコミュニケーションが、安心してもらえるサービスに繋がっていると思います。	宇検村役場は人数が少ない分担当する業務も多岐にわたります。ですが人が少ない分職員同士の縦横の連係がとて強いと感じます。業務上の些細な点についても質問しやすかったり、人手が足りない作業にもみんなで協力する体制が整っていると感じます。また小規模ならではの点として、業務を遂行する上で自分の意見や考えを反映させやすいという点もあります。
仕事のやりがい(印象に残っていること)	役場にいと村民の方と話す機会が多く、その声に寄り添えることにやりがいを感じます。また、今年度から発足した「人口減少対策チーム」の一員としての業務では、課を越えて職員が課題解決に向けた活動をしており、出したアイデアが実現することもあります。村の現状を知り、将来を真剣に考え、みんなでよりよい村づくりを目指すことができることに楽しさを感じます。	私が入庁した年にたんかんを植栽し、就農した農家さんがおられます。そこから私も農業技師として農家さんとともに勉強しながら技術指導を行い、昨年、たんかんはさみ入れ式を行うことができ、無事収穫までこぎ着けることが出来ました。これは1つの課で長く業務に当たることが出来る技術職ならではのやりがいだなと感じました。
先輩職員からメッセージ	課を越えて協力し合える雰囲気があり、新しいことにも挑戦できる環境だと感じています。あたたかい村、宇検村に興味を持っていただけると嬉しいです。	私は出身は宇検村でなく、宇検村には親類等の縁も持っておりません。ですが、最近はそのから宇検村へ入庁する職員も増えてきており、宇検村自体も外からの人をとて歓迎してくれる雰囲気があります。離島の奄美大島のさらに辺境の地である宇検村。コンビニがなく、島も1つしかない宇検村、ですがそんな小さな村でしかできないことや小さな自治体だからこそそのスピード感があり、とても面白い村だと私は感じています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員への研修 新規採用職員研修では、公務員としての心構えや村職員として必要な基礎知識等が修得できます。その他、法制執務研修等の特別研修も充実しています。また、経験豊富な先輩方が、住民対応や困り事など真剣に相談のにつてくれます。 ○柔軟な働き方 テレワーク(職員が居住している住宅等で勤務)環境も整備しており、支給条件を満たすと在宅勤務等手当が支給されます。 ○メンタルサポートも充実 メンタルヘルス業務を外部委託しており、電話やメール、ラインで気軽に相談できます。また、定期訪問時の面談の実施や、メンタルヘルス研修も行っています。 ○職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等に結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(5日)、夏季休暇(3日)、産前産後休暇、育児休業、看護休暇、介護休暇等取得できます。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、職員の勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	62.7
人口	6,130
男	3,082
女	3,048
世帯数	3,458

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	139
一般行政	107
教育	22
消防	0
公営企業等	10
平均年齢	39.6

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島から南へ約480キロメートルの洋上に浮かぶ徳之島の南西部に位置し、総面積が62.7平方キロメートルとなっている。町の北西部には標高417メートルの犬田布岳があり、比較的平坦地に恵まれ南へ向かって緩やかな傾斜をなしている。気温は年平均21.8℃と高く、高温多湿で亜熱帯海洋性気候に属している。 本町の主な産業は農業で、サトウキビやバレイショを中心に、カボチャ等の野菜やマンゴー・パッションフルーツなどの亜熱帯果樹の栽培が盛んであり、畜産等を組み合わせた複合経営が行われている。	主なイベント (年間行事)	4月…海開き 5月…全島闘牛大会 10月…町民体育祭、全島闘牛大会 11月…ほーらい祭り、産業祭、文化祭 1月…全島闘牛大会
目指すまちの姿 (ビジョン)	「町民総参加のまちづくり」をスローガンに「人口増加と産業支援」「高齢者が安心して暮らし、子どもたちに誇れるまちづくり」「人材育成と企業支援」「透明性のある行政運営と地域の特色を生かした集落づくり」「農福連携による町民総活躍のまち」「環境にやさしいまちづくり」に向け、本町の基本理念として掲げる「誰1人取り残さない安心・安全なまちを目指す『町民総参加のまちづくり』」を目指します。	求める職員像	・ 町民のニーズを的確に把握し対応する職員 ・ 地域活動に積極的に加わり貢献する職員 ・ 親切目つ丁寧な接遇をする職員 ・ 町の長期的な展望と現状を把握し行政運営に取り組む職員 ・ 責任感を常に持ち真摯に諸問題に対応する職員 ・ 常に初心を忘れず、向上心を持ち続ける職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	平成29年4月/一般事務職	平成24年10月/保健師
志望した理由	30代・結婚・子育て等の人生の転機に差し掛かり、将来の生活を考え帰島しようと思いました。前職では、介護福祉士として働いており、業界の課題や矛盾等は、現場だけで解決する事は困難で他の業種の知識や協同が必要だと考えていた。行政で働くという事は、制度や地域の環境等での後方支援を行う事が出来、福祉に限らず全てに関わる事の出来る仕事であり、やりがいを感じ志望しました。	高校卒業後、進学のために一度は離れた徳之島。幼い頃から医療関係の仕事に魅力を感じ、家族や友人等の支えがあって夢を実現する事ができました。 大好きな島、生まれ育った伊仙町に戻りたいという思いがずっとあり、専門学校卒業後、看護師経験を経て、十数年前に帰島しました。 看護師経験を活かし、行政保健師として地元、伊仙町民の健康を支え、予防活動への取り組みに貢献したいと思い、志望しました。
入って見たら こんな職場	行政では、数年で異動があり、異動前後で異なる分野の業務に関わります。最初は戸惑いもありましたが、様々な分野の知識や経験が得られる事は、行政ならではの醍醐味かなと思います。	経験豊富で尊敬する上司や先輩、明るい同僚に囲まれ、気軽に相談し合える環境が整っており、恵まれています。 私自身も笑顔溢れる雰囲気の良い職場づくりを目指しています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	志望理由でもいったとおり、法律を整備し、実行する事に関わる事は、やりがい十足で大きく、地域への影響も大きい業務になってきます。そのため、関係してくる法律も多岐にわたり、やればやるだけ課題や目標が出てきます。前向きに考えれば、常に成長し続ける機会に身をおけるやりがいのある仕事だなと感じています。	看護師として急性期医療に携わる中で、予防医療の重要性を実感し、病気になる前の段階から健康を支える保健師の仕事に、より魅力を感じるようになりました。 保健師になり、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方が、住み慣れた島での生活が継続できるような地域づくりに携わる事ができ、嬉しく思います。 また、日々の業務を通じて、自身の学びを深める事ができ、やりがいを感じています。
先輩職員から メッセージ	異動や目標・課題等つらい言葉かもしれませんが、様々な経験や知識を積み上げる事で、より出来る事の幅も広がる。そして少しずつ町が良くなれば、自分の生活する環境がより良い状態になるという前向きなモチベーションがあれば、行政の業務はきっとやりがいを持っていただけたと思います。皆さんが前職で培った経験や仕事に対する考え方は、町の業務においてもきっと生かせるし、町としても求めています。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。	地域保健に携わる中で、離島ならではの困難さを感じる事もありますが、小さな島だからこそ住民や関係機関等と顔の見える関係性が築け、多職種が連携できる環境は強みだと思っています。 保健師という職種は専門性が高く、多方面に関する知識が必要となりますが、地域の方々と関わりを通じて、自分自身も成長できる仕事です。 皆さんと一緒に働ける事を心待ちにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 (男性の育樹休暇の取得実績もあり積極的に取得推進しています。夏季休暇は5日の取得が可能です。) ○給与 給与については、国家公務員に準ずる形であり、初任給については前職の経験も加味し、初任給を決定しております。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○勤務場所 勤務地は伊仙町役場他出先機関(給食センター・歴史民俗資料館・ほーらい館)などがあります。役場本庁舎は、令和5年9月から新築となっており、綺麗で開放感のある空間となっております。
---------	---